2017
No.409
10

Tokyo Dental College Alumni Association











東京歯科大学同窓会会報

東京歯科大学同窓会会報　第409号

目　　次

グラビア　ふるさと自慢
　　いなげ
　　寄付者銘板の除幕式
巻 頭 言……1
お知らせ……2～4
重点事業へのアプローチ……5～8
会　　務……9～15
渉　　外……16
理事会のうごき……17
事業推進部……18～23
母校だより……24～29
準会員のページ……30
支部のうごき……31～44
クラス会だより……45～46
OB 会・グループ・サークルだより ……47～49
すいどうばし……50～51
庶務日誌……52～53
追　　悼……54～55
逝去会員……56
投稿規定……57
へんしゅうこうき……58

表紙写真の説明

・「世界一美しい猿　マンドリル」
　日時：2017年３月29日撮影
　場所：レテディ公園　ガボン共和国（アフリカ）
　昭和41年卒　中信支部　笠原　正行先生
・第５回「新進会員のつどい」ご案内
・「大倉山シャンツェ」
　日時：2017年８月20日撮影
　場所：札幌市中央区宮の森
　昭和55年卒　京橋支部　臼井　文規先生
・平成29年度学年代表者会開催
・「第34回全国都市緑化はちおうじフェア
　スタジアムアートガーデン」
　日時：2017年９月18日撮影
　場所：東京都八王子市台町
　昭和60年卒　横浜中央支部　皆川　雅彦先生

ふるさと自慢　～私のお気に入り～

意外に一番？

板　　橋　　区

ご紹介する板橋区は東京23区の城北地域，人口55万人超の比較的大きな地区です。

板橋区ホームページからの引用になりますが，「延慶本平家物語」という軍記によると，治承４年（1180年）に挙兵した源頼朝が，「武蔵国豊島ノ上滝野川ノ板橋」に布陣。ここで地名としての「板橋」が初めて現れたことから，少なくともこの資料が成立したとみられる鎌倉時代に「板橋」の地名があったことがわかります。そこから明治22年に町名になり，昭和７年に区名に至ったようです。

そこに，板の橋が掛けられていたからということですかね…

そんな板橋の一番を自慢してまいります。



穴場ならでは，この立派なお姿を独り占めできます。

その１　板橋宿

江戸時代の五街道の一つで，京都の三条大橋と江戸の日本橋を内陸で結ぶ中山道の「一番目の宿場」として板橋宿が置かれました。

日本橋から８キロほどですから，どちらかというと明日は江戸に入るという旅人が主に利用したのではないでしょうか。歓楽街？としても賑わったそうです。



石神井川にかかる板橋
（今はコンクリート製）

その２　東京大仏

青銅の大仏では奈良，鎌倉に次いで日本で３番目，「東京では一番大きな仏像」です。板橋区の高級住宅街，赤塚地区の中にある乗蓮寺に鎮座しておられます。駐車場完備で便利なうえに，この他にも境内には見どころが沢山あるお寺です。

この仏像，タレントの山口もえさんのご実家の浅草翠雲堂さんが作製に当たりました。

その３（番外）　モスバーガー１号店

かの有名なモスバーガーは板橋区成増に一番初めに店舗が作られ，ここから全国展開が始まりました。え？　何故ファストフード店がランクインしているかですって？　それは私が成増生まれで，



板橋観光キャラクター
りんりんちゃん

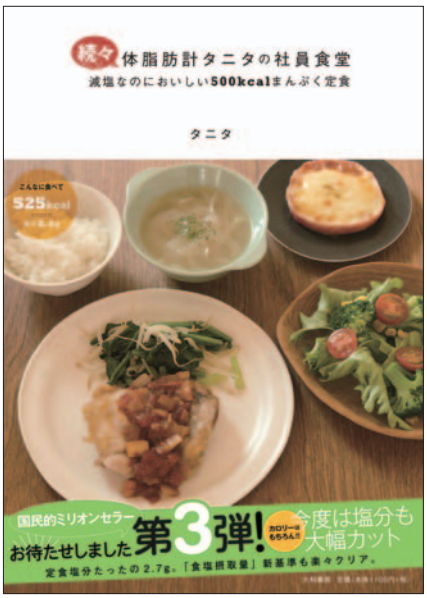


親しみの沸く１号店外観

かつ診療室もこのお店のすぐ近くだからです。昼夜問わず混んでいますが，出前もしてくれます。実は数年前，成増駅に「モスカフェ」という喫茶店の１号店も出来て，濃くておいしい抹茶ラテが楽しめたのですが，こちらは残念ながら店じまいしてしまいました。（＞＿＜）

その４　株式会社タニタ

はい，話題を戻して板橋区に本社を持つ（株）タニタさんです。



この本，買う価値おおいにありです。

経営理念の「我々は『はかる』を通して世界の人々の健康づくりに貢献します」にあるように家庭用のヘルスメータで世界に名を馳せた企業です。現在は体組成計を中心として活動量計，クッキングスケール，デジタルタイマー等を製造・販売している計測器のトップメーカーです。社員食堂の健康メニューは超有名。「丸の内タニタ食堂」（帝国劇場のビル）ではそのレシピの食事が食べられますよ。

その５　植村直己　植村冒険館

植村氏は1970年，日本人として「一番初めにエベレスト登頂」を果たした世界的な登山家です。また，犬ぞりで，たった一人で北極点に到達するなど冒険家としても知られています。

ここは，冒険家・植村直己氏の業績を紹介する企画展をはじめ，彼の冒険精神を永く伝えていく事業を行っています。

乗蓮寺境内に供養墓が設置されています。


瀟洒な冒険館の建物，１階には図書室があります。

その６　澁谷常三郎
（板橋区二代目区長）

「1951年（昭和26年）４月23日公選区長に澁谷常三郎が当選」



（板橋区ホームページ 板橋の歴史より）

澁谷常三郎先生は東京歯科大学出身の大先輩で，同窓会副会長の澁谷國男先生（S43）（板橋支部）のお父上，澁谷英介先生（H９）（同じく板橋支部）のお祖父様です。一番初めの区長ではありませんが，ご安心ください。その後板橋区は区民の生活クオリティを大切にする伝統が育ち，介護／支援の評価で全国総合一位になったのです。そして常三郎先生は板橋区歯科医師会の初代会長でもあるのでした。

まだこれは，ふるさとの魅力のほんの一部ですが，ご紹介してきました板橋区は，都心にすぐ出られるローケーションにありながら，のんびりした土地柄で物価も高くない住みやすいところです。リタイア後に住むところをお探しなら是非候補地に入れてくださいね。（＾＾）／

（昭和56年卒　鈴木　博）

い　な　げ

千葉校舎の一部エリアにフードコートオープン

千葉校舎駐車場部分の土地（航空写真の赤のエリア）を賃貸しに，223台の駐車スペースを持つ「フードコートカスミ稲毛海岸店」が平成29年７月28日にオープンしました。

ここには朝９時から夜12時まで営業のスーパーマーケットカスミ稲毛海岸店の他，ドラッグストア，美容室，クリーニング店，ペットショップ，回転寿司などのお店があります。

大学の状況は，駐車場エリアが少なくなった，東門からの出入りを規制している，以外は何も変化はありません。

稲毛にお越しの際は，一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



航空写真から





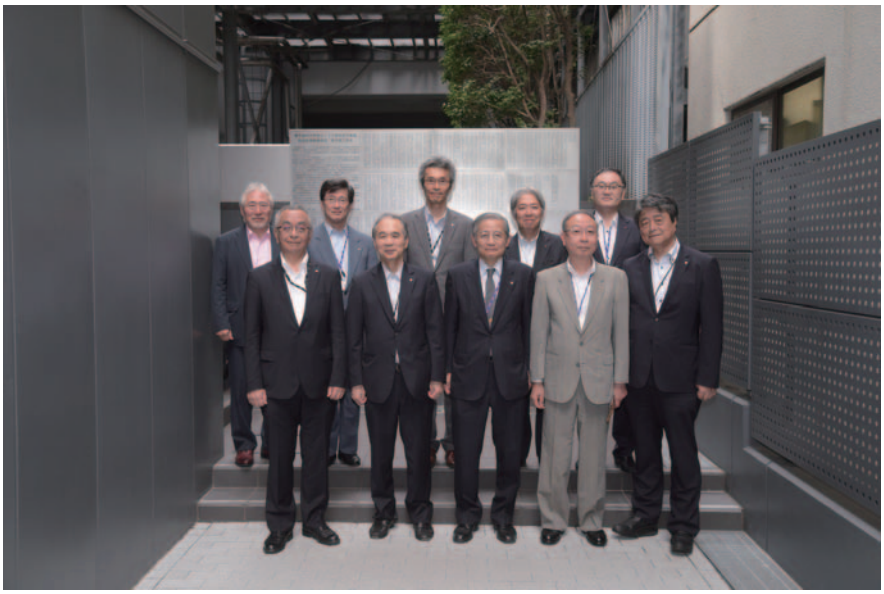


寄付者銘板の除幕式

東京歯科大学創立120周年記念事業施設設備整備資金寄付者ご芳名の銘板の除幕式が，平成29年７月30日，同窓会学年代表者の皆様の出席のもと行われました。

場所は，水道橋西棟南側脇の通路，大学後方の道路に出る通路に設置されております。









巻　頭　言

同窓会名簿の発行と利用



総務・厚生部常任理事

髙　橋　潤　一

平成28年１月より，総務・厚生部　情報管理／新進会員担当常任理事を仰せつかりました，平成４年卒の髙橋と申します。日頃より，会員の皆様には同窓会事業へのご協力をいただき，厚く御礼申し上げます。

同窓会の大切な事業の１つに，同窓会名簿の発行があります。発行は５年に一度となっており，次回は平成31年（2019年）を予定しております。同窓会では，会員各位あるいは支部担当者のご協力の下，常に会員の就業地・住所等につきましては情報収集しております。さらに，名簿発行の前年度には，全員にアンケートをお願いして，正確な情報を掲載する予定です。

近年，IT 化された社会において，様々な物・情報がデジタル化され便利になっています。もし，同窓会名簿がデジタル化されたらどうでしょうか。CD-ROM や USB メモリーで配付されると，皆様はご自身の PC 等で閲覧し，住所や名前を検索することができるかもしれません。タブレット端末にインストールして送付することもできます。あるいは，ホームページから直接検索できるようになれば，瞬時に同級生に連絡を取ることができるでしょう。そうなると，掲載するデータには，e-mail アドレス等も含めた方がよいかもしれません。このように利便性が上がり，ペーパーレスが進めば，エコにも一役買うことになります。

一方，デメリットも伴います。小さな USB メモリーは，紛失・盗難のリスクも高まります。CD には常に破損のリスクがあります。最近の PC は，CD ドライブが付いてない物も多くなり，テクノロジーが進化するとデータが閲覧できなくなる可能性があります。ホームページへの掲載には，多額の費用をかけてセキュリティをしっかりしないと，同窓会のサーバーがハッキングの被害に遭うかもしれません。ログインした PC 経由で情報漏洩することも考えられるので，利用する方にも高い情報リテラシーが求められます。そして，万が一の時には，莫大な損害を被ることも考えられます。ちょっと恐いですね…。

配送された分厚い同窓会名簿を手にとって，ぱらぱらとページをめくりながら若い頃の思い出にひたり，「あの先輩は元気かな？」「彼は開業したんだ！」と思いをはせるのも，同窓会名簿の楽しみです。分厚い同窓会名簿の重みを感じることは，先輩が築いた歴史の重みを感じることでもあります。また，書棚にあれば，すぐに見ることができます。言うまでもありませんが，「本」というアナログ紙媒体における独特の魅力です。

社会の変化の中で，同窓会名簿も曲がり角を迎えているのかもしれません。会員の皆様のご意見をお聞きしながら，同窓会名簿を作製していきます。なお，住所や就業地等，記載事項の変更の際には，速やかにお知らせ願います。

お　知　ら　せ

理事会より

●**平成29年度の「評議員会」及び「都道府県代表者会」が11月19日（日）に東京歯科大学水道橋校舎本館13階にて開催いたします。今回の「評議員会」では同窓会選挙規則により，次期会長及び監事（３名）の選挙が行われます。**
また，「評議員会」の傍聴（発言等はできません）をご希望の会員は準備の都合もございますので，11月８日（水）までに事務局（03－5275－1761）にご連絡ください。

同窓会事業・行事

●第５回新進会員のつどい
と　き　平成29年11月５日（日）
ところ　東京歯科大学水道橋校舎本館13階

●平成29年度東京歯科大学同窓会評議員会および都道府県代表者会
と　き　平成29年11月19日（日）
ところ　東京歯科大学水道橋校舎本館13階

●TDC アカデミア2017
・卒後研修
・医療教養
・臨床セミナー
日程は２月号４ページ参照

地域支部連合会・支部関係

●支部長交代
平成29年６月１日付
日本橋支部　　高橋　英史 氏（昭59卒）
前支部長　　福岡　博史 氏（昭58卒）

平成29年７月１日付
和歌山県支部　　山﨑　一夫 氏（昭53卒）
前支部長　　戸村　善明 氏（昭51卒）

母校関係行事・案内

●平成30年度東京歯科大学入学案内が母校だよりに掲載されております。詳細は24～26ページをご覧ください。

●平成30年度東京歯科大学短期大学歯科衛生学科入学案内が母校だよりに掲載されております。詳細は27～28ページをご覧ください。

ご家族の会員（夫婦，親子，兄弟等）で，複数冊の同窓会会報送付を希望されない方は，事務局で対応いたしますのでご連絡ください。
なお，会費の減額はございませんので，ご理解いただければ幸いです。

東歯関係　日歯役員，各種委員

役　　員

常務理事・髙野　直久（S57卒）　常務理事・小林　慶太（S58卒）　理　　事・藤原　元幸（S50卒）
理　　事・寺田　仁志（S63卒）　監　　事・澁谷　國男（S43卒）

各　種　委　員

顕彰審議会
委　　員・鳴神　保雄（S30卒）

社会保険委員会
委　　員・稲葉　孝夫（S57卒）

地域保健委員会
委　　員・三木　昭代（S53卒）
委　　員・山本　秀樹（S57卒）

学術委員会
委　　員・山田　雅敏（S61卒）
委　　員・山本啓太郎（H１卒）
委　　員・福本　恵吾（H２卒）
委　　員・静間祐一郎（H７卒）
委　　員・石山智香子（H９卒）

国際渉外委員会
委　　員・井上　　孝（S53卒）

広報委員会
委　　員・岡村美恵子（S61卒）

会誌編集委員会
委　　員・井出　良子（S47卒）
委　　員・尾松　素樹（S54卒）
委　　員・齋藤　　淳（H１卒）

図書管理運営委員会
委　　員・櫻井　　薫（S53卒）

材料規格委員会
委　　員・小田　　豊（推薦）

医療品委員会
委　　員・一戸　達也（S56卒）
委　　員・外木　守雄（S58卒）
委　　員・岩渕　博史（H４卒）

スポーツ歯科委員会
委　　員・岩田　昌久（S63卒）
委　　員・武田　友孝（推薦）

災害時対策・警察歯科総合検討会議
委　　員・松野　文昭（S48卒）
委　　員・西　　孝一（S50卒）
委　　員・高田　克重（S57卒）

歯科医療機器試験ガイドライン検討委員会
委　　員・小田　　豊（推薦）

東歯関係　日本歯科医師連盟

役　　員

副理事長・冨山　雅史（S57卒）　常任理事・竹之下伸一（院S52修）　理　　事・宮吉　正人（S60卒）

東歯関係　日本学校歯科医会

役　　員

会　　長・川本　　強（S44卒）　副 会 長・齋藤　秀子（S48卒）　理　　事・鈴木　　博（S56卒）
理　　事・佐々木葉子（S60卒）

ネット時代のリスクマネジメント Part 1
～スマホ“も”危ない！～

これは昨年の12月末頃，広報委員に実際に起こった事です。朝６時半，５人の刑事がドラマの様に捜査令状を目の前に広げ家になだれ込んできた。刑事が「家の PC（パソコン）出して」青天の霹靂とはこういう事か。私の PC を何者かが利用し（マルウエア）会社の口座から不正送金を行ったとのことであった。自分はネットでお金を使わないから問題ないと思っていたが大間違いであった。不用心が他人に迷惑をかけ，自身も大変な目にあうことになった。こんな事にならないように最低限の知識は身に付けなければなりません。今回，シリーズで広報の Web 担当・永井レンズ氏に説明頂きます。

広報　Web 担当：永井レンズ

インターネットの検索や，メールのやり取り，Twitter・Facebook・LINE・Instagram などいわゆる「SNS（ソーシャルネットワークサービス）」でのやり取りなど，皆さんが普段何気なく使用されているスマートフォンですが，PC と同じく個人情報の宝庫であり，その手軽さ故に PC 以上にセキュリティに気を配らなくてはいけません。

昨今では，Facebook や Google に別の SNS を紐付けての認証が可能になり，任意で携帯電話番号やメールアドレスが各 SNS 上で照合され，知り合いに自動的に ID（名前・ユーザー名）が通知されるなど，利便性が向上する一方で，ひとたび不正アクセスが発生すると，絡み合った各サービスが芋づる式に乗っ取られてしまい，さらに，乗っ取られた ID が悪用され，複数の SNS を経由し，知り合いのユーザーへと被害が広がってしまうこともあります。

主な目的としては，１）架空請求・金銭やギフトカードの要求など，更に別の詐欺の踏み台にする，２）有料出会い系サイト・偽ブランド販売サイト・フィッシングサイト（ID・パスワードを収集する目的の偽サイト）などへの勧誘，が挙げられます。

また，ここ最近，ネットバンキングなどに導入されている「２段階認証（パスワードとは別の，一時的な暗証番号）」を導入する SNS が増えてきましたが，友人やサポートを装い，その２段階目の認証コードを言葉巧みに聞き出し，アカウントを乗っ取る手口も増えております。

上記のように直接認証情報を聞き出すのは「ソーシャルエンジニアリング」と呼ばれる古典的なハッキングの手口で，例えるなら，既にネットバンキングの ID・パスワードを手に入れている相手に，振り込み確定用の２段階目の暗証番号を教えてしまう，いわばネット版振り込め詐欺のようなものです。

乗っ取り防止策としては図１の４点が挙げられますが，まずは「本人に直接確認する」という，人間本来の有機的なコミュニケーション手段が一番の防止策といえます。

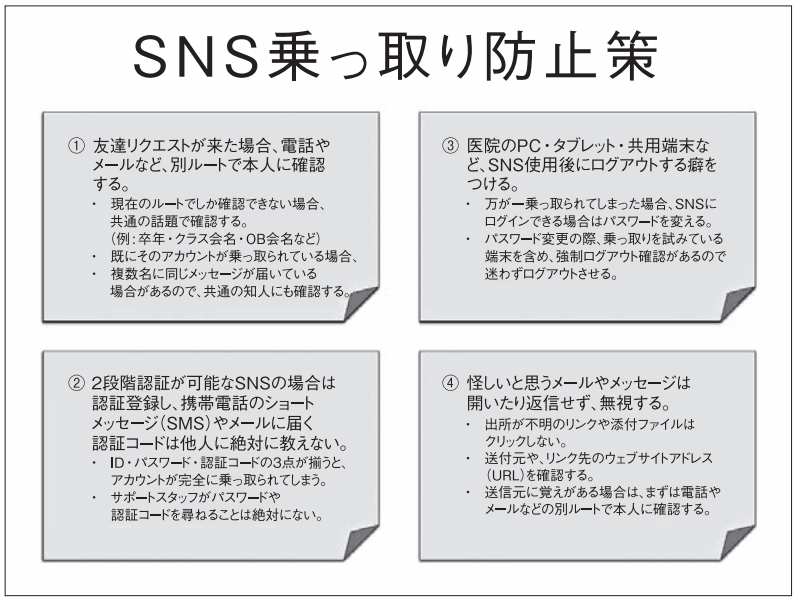


図１

重点事業へのアプローチ

「第１回グループミーティング」開催報告
「将来への不安や働きたい気持ちをサポート…Keep my job 続けよう！私も　仕事も」

総務・厚生部　女性会員活動推進委員会（JKS 委員会）

平成29年６月６日（火）午後７時より，水道橋校舎西棟１階ラウンジにて，総務・厚生部女性会員活動推進委員会（JKS 委員会）主催の，第１回グループミーティングが開催されました。事前に，大学関係の若手の先生方に，８項目についてアンケート調査を行い，ご自身が描く５年後の自分や，同窓会ならびに JKS 委員会に何を求めるかなど，106名（うち男性８名，平均年齢30.9歳）の回答（下記に一部掲載）を得ることができました。その回答に基づいてグループミーティングが企画され，今後の同窓会活動の参考にもなりました。

グループミーティングには男性医局員や学生を含む51名のご出席を頂き，終始和やかな雰囲気で行われました。

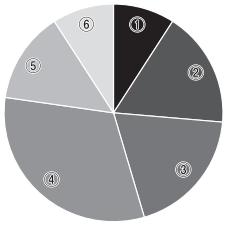
小笠原美由紀委員長の開会に始まり，矢﨑秀昭同窓会長の挨拶，役員並びに委員の紹介そして講演へと移りました。講師には，放射線学講座教授の後藤多津子先生をお迎えして，同窓会常任理事で東京都開業の髙野博子先生とお二人にご講演いただきました。

後藤先生には「大学のガラスの天井について」と言う演題で，ご略歴を交えながらご講演を頂きました。ご自身の家族環境についてもお話を頂き，男女問わず仕事を続ける上で



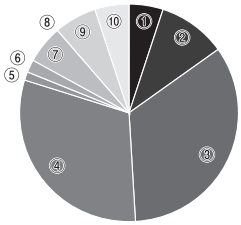


〈グラフ１〉今のポジションは何ですか？



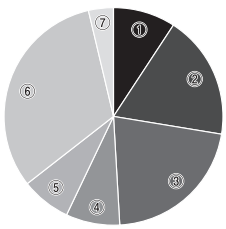
①研修医　④レジデント
②大学院生　⑤大学有給職
③専修科生・専攻生　⑥その他

〈グラフ２〉５年後の自分はどうなっていたいですか？
仕事面（複数回答可）



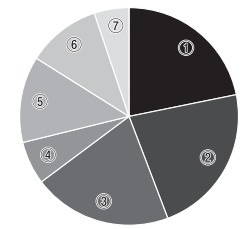
①開業・開設者　⑥研究職
②開業・診療所を継承　⑦大学院生・留学・専修科生
③開業医勤務　⑧他業種への転職
④大学・病院勤務　⑨専業主婦
⑤企業勤務　⑩その他

〈グラフ３〉JKS に期待することは何ですか？（複数回答可）



①交流会の企画
（グループミーティング・座談会等）
②女性が参加しやすい研修会の企画：
希望する曜日（　　）時間
③歯科分野に限らない研修会
（美容・著名人の講演会・カルチャー）
④メーリングリストによる情報提供
⑤SNS での交流・情報交換
⑥人材バンク
（就職先の紹介，産休や育休時等の支援）
⑦その他

〈グラフ４〉同窓会に期待することは何ですか？（複数回答可）



①研修会の企画
②地域でのつながり
③母校とのつながり
④医療過誤などの相談
⑤医療保険請求や歯科医院運営の相談
⑥結婚相談・人生相談
⑦その他

大事なのは，平等に助け合っていけるパートナーを選ぶ事であると，若手参加者にとって大変参考になるご意見を頂きました。

女性でありながら教授に就任出来た理由は，継続就業と，柔軟に適応し成果をだしたからの唯二つだと。そしてその継続就業のキーワードは，strategy（戦略）と selection（選択）の二つであり，そのベースにあるのは passion（情熱）であると。即ち自分の目的の為に，将来どの様になりたいか作戦と組み立てを行い，それを叶えられる先生を選び，道筋の選択をし，そしてそれに向かって情熱を持って進んで行く事が大切であるとご教授頂きました。

卒業後は，人間性や周囲への気配りが出来るか，自立しているか，成熟した人物であるか等の社会人偏差値が重要であるとのお言葉を頂き，終了となりました。

続いて髙野先生には「女性歯科医師ならではの開業 Know−how」と言う演題で，開業の楽しさを伝えたいと言う思いでご講演を頂きました。開業医としてのワークライフバランスについて，その根底に流れる精神は中庸であると。即ち家事も育児も仕事もまたその他の事も，全てが生活の一部であり，過不足の無いバランスが必要であるとのお話でした。

また，事前に行ったアンケートの中で，先輩に相談したい事（グラフ表示以外の項目）の中で，１位が働く環境についてであった事をふまえ，厚生労働省が調査をした歯科医師の勤務形態の現況をご提示下さいました。病院と大学を合わせて，歯科医師が勤務可能なポストは１割のみで，その他は開業して管理者またはその勤務者との事です。女性歯科医師が増加している昨今，歯科界全体の為にも管理者として社会に貢献していかなければとのお話でした。さらに，JKS 委員会に期待する事と言うアンケート項目の１位が人材バンクであった為，公益法人日本小児歯科学会のそれについての取り組みをご紹介頂きました。

ご講演の最後には「美女，才女，猛女の DNA をもつ女性医療人よ　健康で，美しく，賢く，あたたかく，そして強い志を持つ人に！」と言う水田祥代先生の心に残る一言を贈って下さいました。

参加者一同，お二人の先生方から，女性歯科医師の継続就業を考えるにあたり，大変貴重なご経験とご意見を伺う事が出来ました。

その後，「女性歯科医師になって良かった事」「仕事とプライベートの両立」「就職先・開業形態」「スキル UP について」の４つのテーマに分かれ，グループミーティングが行われました。そしてテーマ毎に講師の先生によるアドバイスを頂き，閉会となりました。

短い時間の中でも若手の先生方や学生の方々による，活発な意見交換が行われておりました事は，主催者側にとりましても大変有意義であり，今後も当委員会として継続的に開催し，女性のみならず会員支援の力になれればと考えます。

当日の様子やすべてのアンケート回答を HP/FB に掲載しておりますので，ご覧ください。

（報告：JKS 委員会　長岡未佐子）



第５回「新進会員のつどい」ご案内



今年のテーマは臨床に即した明日からでも使える知識が欲しいという声や，大学で専門的な治療を行っている先生の話を聞きたいとの意見が多かったことから，若い先生が臨床でぶつかりやすい疑問を大学勤務の専門領域を持つ先生方に症例を通じてご講演いただく「その疑問，あなただけじゃないですよ」としました。

大学を卒業して診療に勤しむ中，日々様々な疑問にぶつかると思います。計画の立案から治療法，用いる器具など細かい所をあげればキリがありません。歯科という一つの分野は今では細分化され，よりよい治療のためにはその領域ごとに十分な理解と経験・技術が必要なのはいうまでもありませんがそれら全てを一人でこなすには非常に困難です。今回のような一度に複数の分野の講演を聴ける機会は貴重かと思います。本年度も分野の異なる４名の先生に講演いただくことになり，参加者の皆さんが自分の将来と重ねやすい年齢層ということで，学生時代にお世話になった若手の先生方にお願いしました。それぞれが得意とする分野についてここだけは知っておいて欲しいことを厳選してお話いただく予定です。今まで勉強会に行ったことがない方も多いかと思いますが，そんな方も是非足を運んでみて下さい。

また，講演会の後にはささやかではありますが懇親会を予定しています。

久しぶりに会った仲間と話に花を咲かせるのも良いですし，講演していただいた先生に直接相談をしてみるのもよいかと思います。

今年度も新進会員の先生はもちろん，たくさんの先生方にご参加いただければ幸いです。参加費は無料で，当日参加も大歓迎です。当日皆様にお会いできることを楽しみにしております。

歯周病学　鈴木瑛一先生（平成23年卒）

平成28年度歯科疾患実態調査によると，8020達成者は51.2％と目標の20％を大きく上回り，いずれの年代層においても現在歯数が増加傾向にあります。一方で，４mm 以上の歯周ポケットを持つ者の割合は，平成23年の報告と比較し，全年齢階級で増加しています。今後は患者の健康や QOL を向上させるために，歯周病罹患歯への対応がより一層重要になります。今回の講演に際して，日頃疑問に思っている点について若手の先生方にアンケートをとり，その結果特に多かった以下の３点について主にお話ししたいと思います。

・歯周病の検査・診断について
・歯周病患者に対する治療計画立案のポイント
・歯周外科治療の選択基準（再生療法の適応症等）

過去の研究や実際の症例を元に，我々が普段どのような点に気をつけて治療を行なっているのかについ

てご紹介いたします。今回の講演が皆様の日頃の臨床に少しでも役立つことを願っております。

小児歯科　荒井　亮先生（平成21年卒）

2014年の特殊出生率は1.42人で1947年の4.54人に比べ急激に減少しており少子化と言われています。また平成27年度学校保健調査によれば12歳児の１人平均う蝕歯数は0.9歯となり「う蝕の洪水」といわれている1970年代と比較して減少を示しています。一方，乳歯のう蝕有病者率は６歳で42.1%，永久歯のう蝕有病者率は12歳で32.4%とう蝕がなくなっているわけではなく，近年は二極化しているとも言われています。小児には，成人と違い「時間軸」が存在し，治療時には考慮する必要があります。また小児のう蝕治療は成人と異なる部分があり，ポイントを押さえて治療しないと「詰め物がよくとれる」,「腫れて痛い」が起きる場合があります。

今回，若手の先生方が多く経験すると思われる臼歯部隣接面う蝕を中心に，時間軸と合わせて治療のポイントなどお話しできればと思います。講演を聞いて頂き，今後の子供達の治療に役立てて，時限爆弾にならないような治療をして頂きたいと思います。そして乳歯の治療が永久歯へ繋がるという認識をして頂きたいと思います。

摂食・嚥下　野末真司先生（平成23年卒）

今回の新進会員のつどいのテーマは「その疑問，あなただけじゃないですよ！」です。その中で，摂食嚥下の分野が入っていることに疑問を感じた方は少なくないと思います。そう私が思ったのは，私の周りの同級生もまた摂食嚥下をやっている先生が少ないからです。普段，一般診療をされている先生方にとっては摂食嚥下の分野は遠い存在ではないかなと思います。今回の全体のテーマで何をお話させていただこうかということを考えました。考えた結果，今回は摂食嚥下の基礎である摂食嚥下のメカニズムを中心に話させていただこうと思います。もちろん，それだけではなく，検査方法などもお話させていただきます。今はまだ関係ないと思う先生方が多いかもしれませんが，高齢者が増加し続けている現在，今後,「最近，食べ物をよく噛むことができなくなってきた」,「最近，食事中にむせやすくなった」,「私の親が食事中にむせるようになった」，あるいは,「食事をしてくれなくなった」などの患者からの訴えが増えてくることが予想されます。そのときに少しでもお役に立つことができればと思いながら，準備を進めてまいります。もちろん今回のお話で全てをお話しすることはできませんが，少しでも摂食嚥下の分野に興味を持っていただけたらと思います。

老年補綴　和田　健先生（平成22年卒）

平成22年に東京歯科大学を卒業し，現在は東京歯科大学老年歯科補綴学講座に所属しております。補綴科で日々診療を行っておりますが，今もわからないことだらけです。若手の先生方も，日々新たな疑問や問題に直面していることと思います。

今回は,「その疑問，あなただけじゃないですよ」というテーマでお話させていただく機会をいただきました。自分が初めて義歯を製作した時にわからなかったことや，疑問に思っていたことなどを振り返ってお話しできればと思います。今回のお話が少しでも新進会員の先生方の日々の臨床の助けになっていただければ幸いです。

会　　務

東京歯科大学同窓会選挙規則により，次期（平成30年１月１日～平成31年12月31日）の「会長」および「監事（３名)」の選挙についてお知らせいたします。

公　　示

選 挙 期 日：平成29年11月19日（日）

選 挙 場 所：平成29年度評議員会会場（母校水道橋校舎本館13Ｆ）

届 出 場 所：東京歯科大学同窓会事務局
東京都千代田区三崎町２－９－18
（東京歯科大学水道橋校舎南棟６Ｆ）

届出締め切り：平成29年11月９日（木）正午

被 選 挙 権：支部入会後２年を経過した会員

届　出　人：本人または代理人
（必要なもの）
立 候 補 者：本人の略歴および趣意書
推薦候補者：会員の推薦者２名以上の署名捺印のある推薦書と本人の承諾書

届出用紙が必要な場合は，事務局（03－5275－1761）までご連絡ください。

東京歯科大学同窓会　平成29年度評議員会日程

１．日　時　平成29年11月19日（日）

２．会　場　東京歯科大学水道橋校舎本館13階
東京都千代田区三崎町２－９－18

３．日　程　評議員会　午後１時00分～
午後５時30分予定
懇 親 会　評議員会終了後
（本館西棟　１階ラウンジ）



最寄りの駅からの案内図

4．次　第

1．開 会 の 辞

1．叙勲，褒章受章者顕彰式

1．点　　呼

1．会 長 挨 拶

1．来 賓 挨 拶

1．議長，副議長選出

1．議事録署名人

1．黙　　祷

1．東京歯科大学の現況報告

1．報　　告

⑴　平成29年度　会務報告

⑵　平成29年度　会計現況報告

1．議　　事

第１号議案　名誉会員の推薦

第２号議案　東京歯科大学同窓会会則の第２条および第10条の一部改正

第３号議案　東京歯科大学同窓会共済規程の廃止および東京歯科大学同窓会慶弔基金規程の制定

第４号議案　第３号議案の可決に伴う東京歯科大学同窓会会則の一部改正

第５号議案　平成28年度　経常部収支決算

第６号議案　平成28年度　特別会計収支決算
（高山・血脇記念同窓会基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立120周年記念事業積立金）

第７号議案　平成28年度　卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金収支決算

第８号議案　平成28年度　時局対策費積立金会計収支決算

第９号議案　平成28年度　財産目録

（監査報告）

第10号議案　平成30年度　事業計画

第11号議案　平成30年度　入会金および会費等

第12号議案　平成30年度　経常部収支予算

第13号議案　平成30年度　特別会計収支予算
（高山・血脇記念同窓会基金，共済基金，慶弔基金，名簿積立金，退職積立金）

第14号議案　平成30年度　卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金会計収支予算

第15号議案　平成30年度　時局対策費積立金会計収支予算

第16号議案　北支部・滝野川支部の合併

第17号議案　役員改選

第18号議案　選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出

1．協　　議

1．名誉会員推戴式

1．閉 会 の 辞

評議員会の傍聴を希望する会員は，11月８日（水）までに事務局までご連絡ください。

平成29年度　学年代表者会開催

平成29年７月30日(日)午後１時より東京歯科大学水道橋校舎新館11階第１講義室で，「平成29年度学年代表者会」が開催されました。全学年のうち，53期（いづみ会　昭和23年卒）の中久喜　喬先生（誠に残念ながら，中久喜先生は８月２日にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。）から122期（水稲会　平成29年卒）の小池将人先生まで，各学年の代表者63名と来賓５名，同窓会役員18名の総勢86名の先生方の出席を得て，中島信也総務担当常任理事の進行のもと開始されました。

財部正治副会長の開会の言葉に続き矢﨑秀昭同窓会会長が挨拶に立ちました。

「同窓会としては大学のご協力を得て，卒業時や研修医終了時のオリエンテーションの時間をお借りして同窓会の意義を説明させていただいています。また，同窓でないご父兄が多くなり，同窓会報をお送りするなどしてご理解を深めていただけるよう働きかけています。

平成10年以降卒業の会員の中には連絡が取れない方が多数おられます。各学年の代表者のご協力をぜひお願いします。会員名簿については個人情報保護の考えもありますが，絆としての意義は大きく，発行を予定しています。次回は印刷物にするかCDにするかは検討しています。

本日，大学創立120周年記念事業の一環としての水道橋移転事業である血脇ホールと西棟に関する寄付者の銘板が完成したので，後程除幕式を行います。さらに寄付の受付を行っていますので，ご協力をお願いします。

支部会員数の減少に伴い会費収入が減少している現状を鑑み，それに対応するため全体的な予算を見直し，共済制度の改定を検討しております。さらに生涯研修の充実を目指し，ともに助け合い，高めあうという血脇先生の教えをこれからも継承していきたい。」とご挨拶されました。

来賓・出席者の紹介に続いて報告に移りました。

１．報　告

１）大学より

⑴　大学報告

井出吉信学長より大学報告が行われました。

「本年３月をもって水道橋移転事業がほぼ完了し，新たに西棟地下にCT装置が設置され，材料研究室が開設されました。３階技工室には教育用CADCAMシステムが２台設置され，大学の設備として最先端のレベルとなりました。５階には短大衛生士の実習が行われますが，それだけでなく登院中の学生の実習にも活用されます。本館の改修も終了し，顎顔面疼痛，摂食嚥下にも対応しています。

新設の口腔外科は２講座制になり，保存科も歯内療法と保存修復を分離し口腔健康科学講座も設立されました。

千葉病院では患者数に対して医局員の人数が少ないため，混雑状態にあり改革を検討しています。赤字は減少していますが設備更新が必要で，これに対して「カスミストア」に駐車場の一部を賃貸し家賃収入が得られています。

人口構成の変化に伴う有病者の歯科疾患患者の増加という昨今の社会のニーズに対して，東京歯科大学は医科病院や衛生短大を付属に持っており，さらに有機的に対応できる教育を進めます。

学生の男女構成比はほぼ１対１になっています。地域別では関東を中心として全国から入学しています。

昨年の収支は14億円の黒字ですが，市川病院の関与率が高く更なる努力が必要と考えられます。

18歳人口がいよいよ減少に転じ



左から，中島常任理事，財部副会長



矢﨑会長

てきます。ご子弟のご受験をぜひよろしくお願い致します。」との報告があり，会員に感謝の言葉を述べられました。

⑵　病院報告

矢島安朝水道橋病院長より病院報告が行われました。

「水道橋，市川，千葉の各病院に多くの患者さんをご紹介いただき大変感謝しております。水道橋病院では３年前に比べ，患者数で40パーセント以上，医業収益として30パーセント以上の増加となっております。CADCAM システムの拡充により，一気に最先端の教育，診療が可能となりました。

現在，歯科の高齢者受療率は75歳を境に低下しています。しかし高齢患者の潜在的ニーズは非常に大きいと考えられます。市川病院，千葉病院とも連携し，いわゆる外に出ていく歯科医療を目指していきます。」

⑶　短大報告

石井拓男短大学長より東京歯科大学短期大学歯科衛生学科について説明がありました。

「短期大学のパンフレットについては様々な工夫をして非常に充実したものができました。さらに寮などの周辺環境についても整っています。

短大も無事開校しましたが，２年後には文科省の更なる実地審査がありますので更なる充実を図っていきます。

来年度の受験生の確保にさらにご協力をお願いします。」



石井拓男短大学長

大学への事前質問に移り，最近の学生の母校に対する思いが薄くなっているのではないかとの質問に対し，井出学長より大学のキャンパス移転による親近感の低下も否めないが，専修科制度等を利用していただき卒業後も母校を利用していただくよう広報活動を強化したい。また同窓の子弟の減少も関係していると思われると話されました。

２）同窓会会務報告

臼井文規専務理事より同窓会会務報告が行われました。

「熊本地震に対する同窓支援金は，熊本県支部にお送りしました。４月の移動理事会では熊本城などの被災状況を視察して，地元の先生方と懇談し被害状況をお聞きしました。

昨年の評議員会では卒後６～10年までの会員の会費を１万円に下げ，高山・血脇記念同窓会基金より1000万円を大学に寄付することを決定し，共済制度改革を協議しております。

平成卒（特に平成20年卒以降）の会員の会費納入率が低く，また女性会員の支部未加入が目立ちます。支部への加入が会費納入のカギとなるので，女性会員活動推進委員会の活動，準会員（学生）への啓蒙等を行っています。共済制度の見直しも昨年の評議員会でご意見等をいただき，総務厚生委員会の答申を受け理事会案をまとめ，今年の評議員会の議案として提出予定です。新入会員等へのオリエンテーション，セミナー開催，大学との連携等の通常活動も行っています。

母校への寄付ですが，2000件，４億円を超えました。さらに募集を行っておりますのでご協力ください。」

◆昨年度の要望への回答

要望）寺田仁志先生

（昭和63年卒・新葉会）

地方からの参加者の交通費を支給してほしい。

回答）臼井専務理事

一律5,000円でお願いしたいと存じます。

要望）森岡俊介先生

（昭和47年卒・七十七期会）

逝去報告・黙祷を学年代表者会で行っていただきたい。

回答）臼井専務理事

支部からの報告があり次第，HP・会報に掲載しています。

黙祷は理事会・評議員会で行っております。

◆事前質問（本年分）

質問）丹野　研先生

（昭和39年卒・十二期会）

インターネット活用による会議（評議員会）の開催はどうか。

若い学年ほど母校愛が薄い。学生時代に教員からの指導はいかがか。

回答）臼井専務理事

執行部で検討しているが時期尚早と思われる。

さきほど学長よりご回答いただきました。

質問）森岡俊介先生
（昭和47年卒・七十七期会）
共済制度で若い人に手厚くできないか。
高齢者のお祝いは共済ではなく経常部の予算でよいのでは。
回答）臼井専務理事
若い会員の会費の減額で対応したい。
これまでの経緯から，新設予定の慶弔基金から支出させていただきたい。
質問）久保浩太郎先生
（平成14年卒・リーベン会）
父兄がお亡くなりになった時，同窓会から連絡してほしい。
回答）臼井専務理事
父兄が同窓の場合は，連絡があり次第関係のある皆様にFaxをしています。非同窓の父兄の場合は同窓会には連絡がありませんので対応できません。各学年で連絡網を整備して対応をいただきたい。

ここでお願いですが，会報の投稿規定をぜひ順守いただくようお願いします。特に追悼文は約600字との規定がありますので，よろしくお願いします。

2．協　議

1）同窓会員の横のつながり・縦のつながりについて

中島信也総務担当常任理事
特に若い会員の支部への未加入による組織率低下という心配がある。同期会も行っていない学年もあると聞いている。そこで卒後10年までの先生方に現状と同窓会に期待することをお話しいただき協議のきっかけとしたい。

小池将人先生
（平成29年卒・水稲会）



地方で研修している同級生との連絡がとりにくく感じます。大学の外で研修していて感じるのは学会の場などで先輩とお会いすることが多く，心強く感じます。
若手向けのアカデミアセミナーや新進会員のつどいなどの企画がなされていてとてもありがたいと思います。
岡澤亮平先生
（平成27年卒・桔梗会）



研修が終わり，勤務が始まって忙しく集まれません。部活メインで集まっているようですがだんだん疎遠になりそうです。地方に帰ると勉強の機会が限られるので，ネット等の活用を考えてほしい。
田中亜生先生
（平成26年卒・千鼎会）



開業を考える時期なので，相談できる窓口があればと思います。
木村基善先生
（平成25年卒・良い歯会）



SNSの普及により同窓会のネットワークが相対的に低下しているので，より魅力的な付加価値を考えなければならないのではないか。
石川宗理先生
（平成24年卒・創絆会）



面倒なので関わりたくないとの考えがある。
野末真司先生
（平成23年卒・百彩会）



大震災の影響で謝恩会，同窓会の説明がありませんでした。同窓会のメリットを感じられないため離れてしまっている感があるので，多く引き戻せる動機づけとなるような方策があればと思いま

す。

和田　健先生

（平成22年卒・創志会）



大学に残っている人，東京でまだ勤務している人，地方へ帰った人などがいて，支部に入りにくい年代ですが，例えば東京で若手の支部を作るのはいかがでしょうか？

柳沢哲秀先生

（平成21年卒・善志会）



仲間に恵まれており，独自の勉強会を行っています。同窓会に魅力のある先輩がいれば参加することがあるので魅力的な先輩の発信力が必要です。

新進会員のつどいの講師としては，年配の有名な先生よりも若手の先生のほうがより共感を持って参加できるのではないか。

木村基善先生

（平成25年卒・良い歯会）

今年度の新進会員のつどいでは，主として助教の先生方を講師としてお願いしており柳沢先生のお考えに近い講演会が実現できると考えています。（第５回「新進会員のつどい」ご案内が７～８ページに掲載されています。）

中島総務担当常任理事（司会）

同期会をどの程度の間隔でやっているかの問いかけに対してはばらつきがみられたが，特に10年目までの学年では０～１回となっていた。

毎年開催している学年を代表して

上竹成一先生

（昭和41年卒・踏志会）



同期会は最初が大事であり，毎年開催を決めてしまうこと，また東京近郊の役員を決め，頻繁に打ち合わせ会を行うことが肝心です。勉強もですが，美味しいものをみんなで食べることです。

大岡紀一郎先生

（昭和42年卒・志学会）



同期会は毎年開催していますが，東京近郊の常任幹事と地方開催時の地元幹事の組み合わせで運営しています。今年も59名の参加者がありました。

森岡俊介先生

（昭和47年卒・七十七期会）



２年に１回開催していますが，そのメリットは仲間からの情報が豊富に入り，被災した先生には迅速に大きな支援ができました。

今村嘉宣先生

（昭和54年卒・弥生会）



同期には教授が多数おり，皆幹事をお願いしていますが，それだけでなくいろいろな分野で活躍しているエピソードを皆さんにお伝えすることを心掛けている。

中島総務担当常任理事（司会）

いろいろな貴重なご意見をありがとうございました。それぞれの学年の話をされるときの誇らしく楽し気な表情が若手の先生方の励みとなっていただけたらと思います。これらの発言につながる学年間の交流は，同窓会の存在意義につながるものと思われます。今日頂いたご意見を基に，横のつながりを深め，さらには縦のつながりをも強めていただければと思います。これで協議を終了します。

澁谷副会長



長時間にわたりご苦労様でした。大変貴重なご意見を多数いただきました。この後の懇親会でも引き続きお話が出ると思います。これからも三期目の矢﨑執行部にご協力をお願いします。

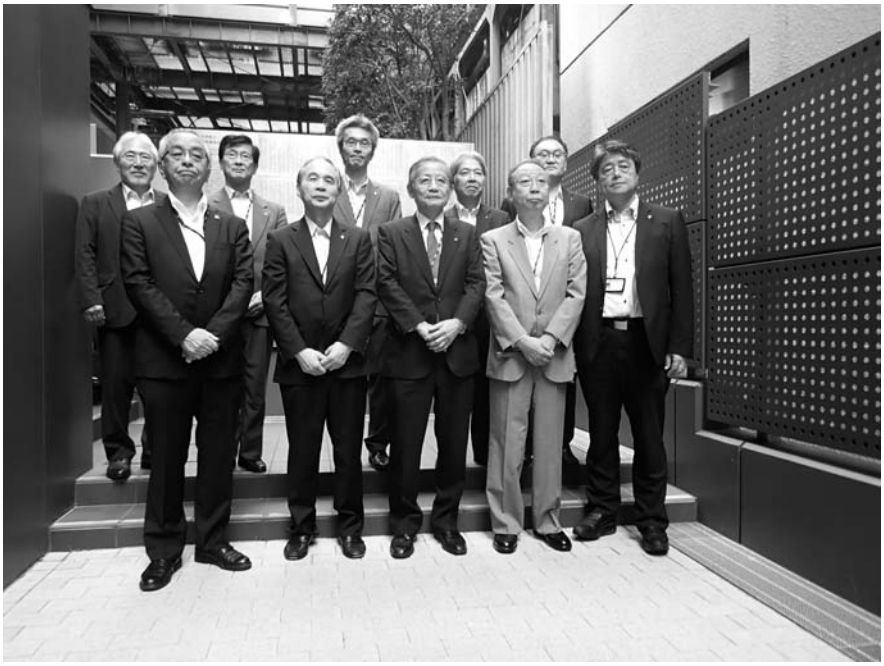
引き続き，本館西棟脇にて寄付者銘鈑除幕式が行われました。

井出理事長の式辞に続いて矢﨑同窓会長が挨拶を行い，両先生の手により除幕が行われました。

除幕式終了後，西棟１階ラウンジにて懇親会が開催されました。

早速晴邦副会長，一戸達也副学長の挨拶の後，宮地建夫顧問の乾杯を合図に，各学年の代表者が親しく親交を温めました。最後に鳴神顧問の指揮による校歌斉唱・財部副会長の閉会の辞により会を終了しました。

（広報委員会 記）





渉　　外

東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会

第185回日歯定時代議員会１日目の６月15日(木)の午後６時より飯田橋のホテルメトロポリタンエドモント３階「春琴」において東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会が開催されました。

出席者は，東歯関係の日歯役員３名，日歯代議員19名，都道府県歯会長５名，同窓会役員14名，同窓会渉外委員会より２名，そしてご来賓として母校学長代理の一戸達也副学長，白須賀貴樹衆議院議員，島村　大参議院議員，日本歯科医師会の堀　憲郎会長，日本歯科医師連盟会長代理の藤原元幸副会長，次期日歯理事の寺田仁志先生と日本学校歯科医会次期会長の川本　強先生がご列席くださいました。

同窓会の佐々木眞澄常任理事の司会進行で，財部正治副会長が開会の辞を述べ，まず矢﨑秀昭会長より，「今期で会長任期満了となる鹿児島県歯科医師会会長の森原久樹先生，東京都歯科医師会会長の髙橋哲夫先生，新潟県歯科医師会会長の五十嵐　治先生，そして日歯理事任期満了となる富山県歯科医師会会長の山崎安仁先生，日歯連盟副会長任期満了の秋田県歯科医師会会長の藤原元幸先生に慰労の言葉を申し上げたい。また新たに県歯会長になられる和歌山県の中西孝紀先生，山梨県の三森幹夫先生，日学歯次期会長の川本強先生また次期日歯役員が決定された先生方には益々のご活躍を期待したい。母校も国試・入試等で全国一を誇っている。各支部では会員が減少し大変な状況にあるが，日歯，日歯連，日学歯等で同窓が益々活躍し，将来の歯科界のために頑張って貰いたい。」との挨拶がありました。

丁度，日歯の堀　憲郎会長と日歯連の藤原元幸副会長が会場にお見えになり，それぞれにご挨拶を頂戴いたしました。

この後，来賓挨拶として母校学長代理として一戸達也副学長より，「６月１日付で母校学校法人の役員人事が変更になった旨，今後母校と同窓会とが益々協力して日歯，歯科医学会等に積極的に人材を輩出していく事は重要である。」とのご挨拶がありました。

つづけて，ご来賓挨拶として白須賀貴樹衆議院議員，そして日歯役員挨拶として髙野直久常務理事，小林慶太常務理事と山崎安仁理事より，次期日歯役員挨拶として寺田仁志先生と澁谷國男先生より，次期日本学校歯科医会会長の川本　強先生よりそれぞれご挨拶を頂戴しました。

この後出席者の紹介を行い，つづけて同窓会の大山萬夫顧問のご発声で乾杯しました。この後は会食をしながら会を進行しました。

まず同窓会の臼井文規専務理事が会務報告を行い，その後今期で任期満了となる鹿児島県歯科医師会会長の森原久樹先生と東京都歯科医師会会長の髙橋哲夫先生，そしてご出席頂いている日歯代議員，都道府県歯会長全員よりそれぞれ近況報告とスピーチを頂戴いたしました。

会は終始和やかな雰囲気の中進行し，終盤に，所用のため遅参して駆けつけられたご来賓の島村大参議院議員と，日歯連副会長で次期日歯役員の藤原元幸先生からご挨拶を頂戴し，最後に全員で校歌を斉唱し，同窓会の冨山雅史副会長の閉会の挨拶で終了しました。



理事会のうごき

第３回理事会

平成29年６月17日（土）午後２時30分
於　　特別会議室
出席　30名
議長　矢﨑会長

会 長 挨 拶

４月の移動理事会には全国から熊本にお集まりいただいた結果，有意義なものとすることができた。また，このところ全国各地の支部会や連合会に伺うと，会員数が減少する中で活発な活動が繰り広げられ，特に若手会員の活躍が目立ち，心強く感じている。

先日，日本歯科医師会の代議員会が開催され，同窓から５名の役員が選出された。今後，同窓会として支援していくとともに，各位の活躍を期待している。

同窓会では事業改革として，本年は共済事業の見直しを行っている。総務・厚生委員会から答申書が提出され，本日はそれを受けて執行部案を協議する。その後，会員に周知して11月の評議員会に臨むこととなる。宜しくご審議をお願いする。また来年度の予算案を作成する重要な時期となっているが，会費収入の減少に伴う事業全体の見直しも迫られているので，その点についてもご協議をお願いする。

黙　　祷

千葉県支部・鈴木　隆氏はじめ４名のご逝去を悼み，謹んで哀悼の意を表した。「黙祷」

会務報告ならびに承認

１）平成29年５月25日から12月28日までの日程を報告。
２）各部報告
⑴　総務・厚生部：①会費，共済負担金納入免除願いが１件提出され，受理した旨の報告。②逝去会員について規程により弔慰共済金を支給した旨の報告。③支部長交替について２件報告。④支部長退任時の感謝状ならびに記念品の贈呈について２件報告。⑤母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑥会務運営協議会報告。⑦総務・厚生委員会報告。⑧ゴルフ大会委員会報告。⑨女性会員活動推進委員会報告。⑩同窓会事業改革検討会報告。⑪時間外・休日労働に関する協定（36協定）締結と労働基準監督署長届け出について報告。
⑵　会計部：①地域支部連合会学術講演会助成金の支出について１件報告。②支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について３件報告。③平成29年度５月末現在現況報告。
⑶　渉外部：①渉外委員会報告。②東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員懇談会報告。
⑷　広報部：①広報委員会報告。②同窓会 HP アクセスレポート報告。
⑸　事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②学術委員会報告。③ TDC アカデミア2017受講申込状況報告。④二校会主催若手研修セミナー報告。

以上の会務報告について，全て承認。

協 議 事 項

１）推薦会員退会願いについて１件協議，承認。
２）平成28年度東京歯科大学同窓会決算書について評議員会に議事として提出することを承認。
３）共済制度の見直しについて総務・厚生委員会から提出された答申書を協議，承認。内容を各地域支部連合会・支部等に周知する。また共済制度変更の伴う会則等の問題点と，慶弔基金運営規程（案）については継続審議。
４）経常部会計の年次変化と今後の見通しについて説明，同窓会事業改革について協議，各事業部担当に対しヒアリングを行い予算決定することを承認。将来的な検討を含め継続審議。
５）平成30年度事業計画・予算（案）について協議，継続審議。
６）学年代表者会の進行・協議題について確認。前年度に出された質問の回答について承認。詳細の変更については会長一任。
７）同窓会会報について「会報検討会」を立ち上げ大学と検討を進めることを承認。

事 業 推 進 部

◉卒研リポート◉

TDC アカデミア 2017　卒後研修　臨床セミナー
「マイクロエンドドンティックスの極み」
～歯内療法の基礎からマイクロスコープの基本的操作習得の1.5日～





今回のセミナーは５月20日（土）午後からと21日の午前午後の２日間を大学校舎から飛び出し，JR御茶ノ水駅下車徒歩７分にあるGC Corporate centerのマイクロスコープが設置された素晴らしい実習室で開催されました。マイクロスコープは保険に導入されたこともあり，私たち開業医にとっても身近な設備になりました。しかし，その必要性やコストパフォーマンスなどで導入に踏み切れない先生や，持っているが使い切れていないと感じておられる先生も多いのではないかと思います。そんな先生方をマイクロの世界にいざなう，最高の機会になったと思います。

講師は東京歯科大学歯内療法学講座主任教授，古澤成博先生でした。セミナーは２日間で講義と実習を交互に行い，効率よく技術を習得できるよう工夫されていました。１日目の最初の講演はマイクロスコープの基本について話され，その内容は歯内療法の基礎から最新の治療法まで，ボリュームのある内容を分かりやすく講演していただきました。いかにして正確な根管治療を行い成功に導いていくのか。「水硬性セメントは４mm以上の深さがほしい」，「根充後は早くコアを立てる」，「ストッピングは咬合圧を掛けなければ一週間ならまあまあ」など，データに基づいた治療は直ぐにでも取り入れたいものばかりでした。臨床のヒントが盛り沢山なのに紹介しきれないのが残念です。さて，本題のマイクロスコープの話ですが，土曜日の講演で「歯内療法におけるマイクロスコープの使用意義」と題し，詳しく説明して頂きました。マイクロスコープで見えるものとして★髄室形態★髄床底の構造★詳細な根管解剖（◦MB２－上顎第一大臼歯近心頬側根管などの分枝◦見落とした根管口や石灰化物の発見◦IsthmusやFin）★根管内の汚染状態や清掃状態★根管内の破折・亀裂★偶発症関連（穿孔・破折小器具の確認）★正確な逆根管充填や縫合など（外科的歯内療法時）でした。注意すべき根管解剖も初回講演でご説明頂きました。実習では基本的なマイクロスコープの取り扱い，ポジショニングは勿論，実際にMB２の探索，破折リーマーの除去，逆根管充填を行いその有用性を十分に体験できたのではないでしょうか。最初はマイクロスコープの距離感などに少し戸惑っていた先生方も，さすがに臨床をやられているので，MTAセメント穿孔部の封鎖や逆根充をなど見事にクリアーしていました。実習で治療した歯牙のデンタルを撮り一人ずつ古澤先生に一対一でコメントをいただくという企画があり，受講生は内容の濃いディスカッションができたようでした。








今回も学術委員が時間をかけて作りこんだ素晴らしいセミナーとなっていました。２日間にわたる実習を終え，締めの講演は「Re-treatment　歯へのアプローチ」という演題で古澤先生から講演がありました。失敗しない歯内療法を行うためには①正確な診断能力と処置方針の決定②根管形態の分類と把握③基本的な臨床術式とISO 規格④歯内療法薬の特徴と選択基準。とのことでした。また，根管清掃剤の選択，根管治療剤の選択，最近の傾向などもご説明頂きました。個人的感想ですが，FGやペリオドンはアマルガムのように消ゆく運命なのかもしれません，また，マイクロを始めるにあたり，表面反射のミラーやレトロミラー超音波を用いた拡大・形成システム，E７チップなど周辺機器の準備も必要となり，ハードルはいくつかありますが，今回の実習は，まだマイクロスコープを導入していない先生にとって間違いなく最初の一歩となったようでした。最後に55年卒中野正博先生が代表として修了証を受け取り終講となりました。圧倒的な機材の進歩に裏打ちされた私たちの技術の向上が求められているのを肌で感じた２日間でした。

（取材・広報部　西村哲雄）







卒研リポート

TDC アカデミア 2017　卒後研修　Part 1　補綴セミナー

最近のメタルフリー歯冠修復の実際

～オールセラミッククラウン，CAD/CAM 冠治療の勘所～

近年歯の修復治療に白い歯を求める患者さんの声を多く聞きます。しかしながら従来の保険診療では材料や適応部位に限りがあるのが現状でしたが最近保険導入されたCAD/CAM冠や自費診療でのオールセラミック冠など種類も増え，それに伴って何をどのように使い分けるか悩むところでした。

そのような中，平成29年６月11日（日），クラウンブリッジ補綴学佐藤　亨教授の上記フォーラムが開催されましたので悩みが解決されることを期待し取材してまいりました。

《企画主旨》

審美領域に留まらないメタルフリー歯冠修復物はジルコニアやガラスセラミックスを中心に様々な製品が出回っているのが現状です。

また支台歯形成の基本や接着操作，メタルボンドとオールセラミッククラウンの使い分け，支台築造などこれらを一度総括しそれぞれの特徴や適応範囲を再確認し，より良い治療法の選択肢の幅を広げられるよう知識の整理をしていただきたいと企画したセミナーということです。

《１．オールセラミッククラウン》

まずセラミックスの分類として



○シリカ系

長石系（陶材）には

築盛・焼成法

CAD/CAM 法

２ケイ酸リチウム系には

CAD/CAM 法

加熱加圧（ヒートプレス）法

○アルミナ系には

CAD/CAM 法

○ジルコニア系には

CAD/CAM 法

があり，これら３つの材料の違いによりプライマーが違うことを理解する。そしてそれらを単体で作成するか，前装するのかをまず最初に考えると良いそうです。



①　マージン・支台歯形態

マージン形態は半径１mmのディープ（ヘビー）シャンファー，ラウンデッドショルダーを基本とする。

②　ジルコニアブリッジ設計時の注意事項

クリアランス不足，歯冠高径が短い場合など連結部高径不足には連結部形態・面積を考慮した設計にする必要がある。

《２．CAD/CAM 冠（保険適用）》

利点と問題点

①　利点

○メタルフリーで審美性・生体親和性が良い

○ガラスセラミックスより破折しにくい性質

○安定した品質

○トレーサビリティーの確保

②　欠点

○適応の限界がある

○再製の費用負担

○長期の予後が不明



《３．レジンコアの基本》

①　上顎前歯の場合，ファイバーポストの方向は歯軸方向，あるいは少し舌側よりとする

②　帯環効果のため歯質を保存する

③　ポスト孔の太さとファイバーの太さをなるべく一致させる

④　根尖から２～３mmはなす

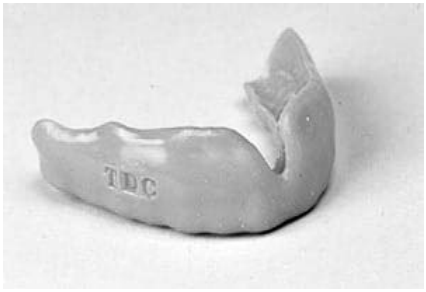
⑤　先に支台歯形成を行い薄い部分を削ると良い

その他，補綴装置への処理方法，接着とプライマー，支台歯への処理，保険CAD/CAM冠の各社ブロックの比較など，とても紙面ではお伝えきれないほど明日から直ぐに参考になる内容ばかりで，是非とも機会があればセミナーに参加されることをお勧めいたします。

（取材・広報部　福井雅之）

◎卒研リポート◎

TDC アカデミア 2017　スポーツ歯科セミナー
適切なマウスガードの必要性



スポーツマウスガードは，多くの競技で義務化や推奨されている。その効果は外傷の予防軽減だけでなく，咬合力上昇による運動能力や姿勢抑制も向上し，脳震盪も軽減する。



モーグル，ラグビーなど様々なトップアスリートのスポーツデンティストとして活躍されている東京歯科大学口腔健康科学講座准教授の武田友孝講師に適切なマウスガードの必要性，効果およびその設計・作成法についての講演があった。



高校生までに25％が口腔外傷の経験がある。外傷の予防軽減にはマウスガードの効果は高く，前歯部の脱臼骨折，下顎骨骨折は直接外傷だけでなく咬合していない（口が開いている）時に突然の上下顎衝突によるものも多い。ニュージーランドの例では，マウスガードを義務化後以前に比べて43％受傷が減った。

マウスガードの種類

バキュームタイプ：一枚法，厚さをコントロールできず３mm のシートでも前歯部の薄い部分では１ミリ程度になってしまう。１枚法でもしっかり咬める咬合調整すると上顎前歯にかかる衝撃を緩和できる。武田講師は3. 8mm を使用する。

ラミネートタイプ：加圧タイプ，積層法，厚さや硬さのコントロールができる。優れた適合性がある。特に衝撃の強いスポーツなどでは前歯部に空間を開け直接の衝撃を避ける方法もある（ハード＆スペースタイプ)。



使用上の注意

・高温に注意（夏の部室に保管など)
・清潔に
・スポーツドリンクを飲んだ直後の装着は避ける。
・保管は通気性の良い容器に乾燥保管。
・使用中は常に咬合しないよう指導

作成の注意

・咬合面と平行にする。第二大臼歯部切削後，トーチにて軟化咬合器上で調整，咬合面はフラットにする。違和感のないマウスガードにするためには咬合関係が最も重要である。
・変形を防ぐため辺縁の細部はヒートナイフを使う。
・バキュームタイプは口蓋を抜く（適合性を高めるため)。
・加圧時作業模型の位置づけは形成後の厚さをコントロールするため，咬合面に平行ではなく30度ほど傾ける（前歯高く臼歯低く)。
・挙上量は臼歯部でおおむね２mm。
・マウスガードの後縁は最低限第一大臼歯，有効な力の分散を考慮すると第二大臼歯が望ましい。



TDC 健康スポーツ科 HP より

市販されているマウスガードもあるが，どれも適合性が悪く咬合の付与ができず，有効なものが少なく，歯科医の関与が必要である。

今回は，半日のスケジュールで文献や症例も交え有意義な講演でした。

（取材・広報部　島田　篤）

卒研リポート

TDC アカデミア 2017　臨床セミナー
ペリオセミナー　今こそ見直そうあなたの歯周治療
～スキルアップのための歯周治療の実践と歯周外科の基本技術の習得～

平成29年７月９日（日），午前９時より，水道橋校舎新館８Ｆにおいて，表記セミナーが開催された。

今回は，金沢市開業の船登彰芳先生をお迎えして行われた。船登先生は，言わずと知れた５－D Japan ファウンダーであり，インプラント・歯周病治療の専門医として国内外で幅広くご活躍されています。

「歯周病治療に終わりはありません，生涯にわたる SPT 及びメインテナンスが不可欠である」ハッキリと明言され，初期治療とメインテナンスの重要性からスタートした講演は，冒頭からグイグイ引き込まれていった。

歯周治療におけるリスクファクターの解説から，補綴物の形態を左右する骨整形へのアプローチを数々の症例を供覧しつつ５－D コンセンサスそれぞれの対応を話された。

午前中の実習は，本館の10F に移動し，本学の臨床実習室を使用しオペガムシート（疑似粘膜）を用いた切開と縫合の実習を行った。

この実習では，持針器・メスホルダーの持ち方から切開・剥離の基本術式を学んだ。実習スタッフも担当班を巡回しながら丁寧にサポートしている。

先生は，時にはホワイトボードを用いて，熱心に解説。

昼になると，受講生皆で昼食をとりながら午後の実習をスライドで確認する。午後の実習は，Part. １豚の下顎骨を用いて実際の下顎大臼歯部における中等度歯周病を想定して，部分層弁による根尖側移動術，全層弁による根尖側移動術，最後臼歯に Distal-Wedge を行う。

Part. ２上顎前歯部

CrownLengthening を想定して，部分層弁による根尖側移動術，歯槽頂予測切開を行い，各種マットレス縫合を実習していく。

２時間あまり実習した後，講義室にもどり，長期症例からみた歯周治療の考え方，審美治療における切除療法の応用の講演を聴いた。

午後16時30分をまわり，活発な質疑応答後，大きな拍手にて終講となった。午前９時から始まったセミナーは，タイトなスケジュールのなか，時間は瞬く間に経過していった。本セミナーは参加された先生方にとって，大きな収穫となったことと思う。

（取材・広報部　山口雅史）








●社会保障制度研究委員会●

講演会のお知らせ

主催　東京歯科大学同窓会
（事業推進部社会保障制度研究委員会）
協力　東京歯科大学同窓会東京地域支部連合会

「診療報酬改定のマルわかり」

講師：東京歯科大学　歯科医療管理学　教授
鳥山　佳則（とりやま　よしのり）先生

日　時：平成29年11月29日（水）19時～21時（受付開始　18時30分）

場　所：東京歯科大学水道橋校舎　南棟２階大会議室

対　象：東京歯科大学同窓会会員

参加費：無料

講師略歴：1987年３月大阪大学歯学部卒業　同年５月厚生省入省
2010年　厚生労働省保険局歯科医療管理官
2012年　社会保険診療報酬支払基金本部歯科専門役
2014年　厚生労働省医政局歯科保健課長
2016年６月東京歯科大学歯科医療管理学教授

鳥山先生からのコメント

平成30年度は，慣例により診療報酬改定が行われる可能性が高い。診療報酬改定は歯科医師にとって最大の関心事のひとつであり，その内容は厚生労働省に設置された中央社会保険医療協議会において公開で審議される。しかしながら，審議の過程や，改定の趣旨については，必ずしも正確に把握されておらず，その結果，歯科医師が診療報酬改定について，しばしば誤解や不信感を抱く原因となっている。

そこで演者の診療報酬改定担当者としての経験を踏まえて，改定の進め方について中医協の組織を含めて解説し，併せて，これまでに聞いた無数の要望や誤解に対して解説を行いたい。

母 校 だ よ り

平成30年度東京歯科大学入学案内（東京歯科大学入試要項より）

1．入試日程一覧　（全募集人員128名：編入学除く）

入試制度	募集人員	出願期間（期間内必着）	試験日	合格発表日	試験会場
編入学試験 A	若干名	平成29年９月26日〜平成29年10月３日	平成29年10月７日	平成29年10月10日	東京歯科大学さいかち坂校舎
学士等特別選抜 A	若干名				
推薦入学選考	約45名	平成29年10月30日〜平成29年11月７日	平成29年11月11日	平成29年11月14日	東京歯科大学水道橋校舎本館
帰国子女・留学生特別選抜	若干名				
一般入試（Ⅰ期）	約50名	平成29年12月15日〜平成30年１月26日	平成30年２月２日	平成30年２月５日	**東京会場**：東京歯科大学水道橋校舎本館 **大阪会場**：TKP新大阪ビジネスセンター **福岡会場**：TKP 博多駅前シティセンター
大学入試センター利用試験（Ⅰ期）	13名				
一般入試（Ⅱ期）	約15名	平成30年２月16日〜平成30年３月２日	平成30年３月10日	平成30年３月13日	東京歯科大学水道橋校舎本館
大学入試センター利用試験（Ⅱ期）	５名				
編入学試験 B	若干名				
学士等特別選抜 B	若干名				

※編入学試験Ａ・Ｂは，２年次に編入学

2．出願資格

推薦入学選考（一般公募制）

次の各条件を満たし，かつ高等学校長が責任をもって推薦する者。
1．平成29年３月高等学校卒業者または平成30年３月高等学校卒業見込の者。
2．人物・性格ともに優れ，健康である者。
3．入学を許可された場合，必ず本大学に入学することを確約できる者。

帰国子女・留学生特別選抜

次の各項のいずれかに該当する資格を有し，入学を許可された場合，日本語での授業を理解できる者。
1．外国において，学校教育における12年の課程を修了した者または平成30年３月31日までに修了見込の者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
2．国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成30年３月31日までに18歳に達する者。
3．ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で平成30年３月31日までに18歳に達する者。
4．フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で平成30年３月31日までに18歳に達する者。
5．グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCEA レベル）資格を有する者で平成30年３月31日までに18歳に達する者。

編入学試験 A・B，学士等特別選抜 A・B 共通

次のいずれかを満たす者とする。
①４年制大学卒業者または平成30年３月卒業見込の者。
②医療技術系短期大学を卒業した者または平成30年３月卒業見込の者。
※医療技術系短期大学とは，看護・歯科衛生・歯科技工・臨床検査・診療放射線・理学療法・作業療法・臨床工学・言語聴覚等の分野を履修する短期大学
③４年制大学に２年以上在学し，所定の単位を取得した者，または平成30年３月までに４年制大学に２年以上在学し，所定の単位を取得見込の者。
※所定の単位は，総単位数65単位以上とし，うち数学・物理学・化学・生物学に関する科目について合計16単位以上を必要単位数とする。

3．試験内容

<table>
<tr><th>入試制度</th><th>選考内容・試験内容</th></tr>
<tr><td>推薦入学選考</td><td rowspan="2">(1)　小論文
(2)　小テスト〔外国語（英語），数学，理科（物理・化学・生物から１科目選択)〕（出題範囲は一般入試（Ⅰ期）に準ずる）
(3)　面　接</td></tr>
<tr><td>帰国子女・
留学生特別選抜</td></tr>
<tr><td>一般入試（Ⅰ期）</td><td rowspan="2">(1)　Ⅰ期　学力試験（出題範囲は※１参照）
①　外国語（英語）
②　数学
③　理科（物理・化学・生物から１科目を選択）
Ⅱ期　学力試験
①　外国語（英語）
②　数学・物理・化学・生物のうち１科目を選択
(2)　小論文
(3)　面　接</td></tr>
<tr><td>一般入試（Ⅱ期）</td></tr>
<tr><td>大学入試センター利用試験（Ⅰ期）</td><td rowspan="2">(1)　平成29年度大学入試センター試験の受験科目
外国語　「英語（リスニングを除く)」
数　学　「数学Ⅰ・数学Ａ」,「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科　「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」から２科目
または「物理」,「化学」,「生物」から１科目
※理科について，２科目を受験した場合は，高得点の科目を合否判定に使用する（「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」については選択した２科目の点数を１科目の得点として扱う)。
(2)　小論文
(3)　面　接</td></tr>
<tr><td>大学入試センター利用試験（Ⅱ期）</td></tr>
<tr><td>編入学試験Ａ</td><td>(1)　小論文
(2)　小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題）
(3)　面　接（グループ面接・個人面接）</td></tr>
<tr><td>編入学試験Ｂ</td><td>(1)　小論文
(2)　小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題）
(3)　面　接（グループ面接・個人面接）</td></tr>
<tr><td>学士等特別選抜Ａ</td><td>(1)　小論文
(2)　小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題）
(3)　面　接（個人面接）</td></tr>
<tr><td>学士等特別選抜Ｂ</td><td>(1)　小論文
(2)　小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題）
(3)　面　接（個人面接）</td></tr>
</table>

※1　一般入試（Ⅰ期，Ⅱ期）学力試験出題範囲

外国語　英語：コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰ。ただし，実際に音声を使ったリスニングテストは行わない。

数　学　数学：数学Ⅰ（「⑷データの分析」を除く），数学Ⅱ，数学A，数学B（「⑵数列」と「⑶ベクトル」を範囲とする）

理　科　物理，化学，生物の3科目のうち1科目を試験場で選択する。

・物理：物理基礎，物理
・化学：化学基礎，化学
・生物：生物基礎，生物

4．学納金　（全入試制度共通）

入学金	600,000円（入学時のみ）
授業料	3,500,000円
歯学教育充実費	4,300,000円（入学時のみ）
施設維持費	1,000,000円
合計	9,400,000円

―受験科目詳細・入学手続きその他詳細は［入試要項］をご覧下さい―

（入試要項は，下記webサイトから請求可能）

http ://www. tdc. ac. jp

入試ガイダンス・オープンキャンパス開催される

去る8月6日（日）と26日（土）の両日，平成30年度の入学試験に向けた第2回および第3回の東京歯科大学入試ガイダンス・オープンキャンパスが新館2階血脇記念ホールにて開催された。

第2回は352名の来場者があり，非常に盛況であった。また，推薦入試問題の解説（全科目）や各入試科目のポイント説明も行われた他，第5学年生による学内見学を行い，こちらも好評であった。

今後の入試ガイダンス・オープンキャンパスは12月16日（土）に開催予定となっている。



平成30年度東京歯科大学短期大学歯科衛生学科入学案内

（東京歯科大学短期大学　学生募集要項より）

1．入試日程一覧　（全募集人員：50名）

入試区分		募集人員	出願期間（期間内必着）	試験日	合格発表
推薦入学選考	高等学校長推薦	40名	平成29年11月６日（月）～平成29年11月15日（水）	平成29年11月19日（日）	平成29年11月21日（火）
	社会人・学士等特別選抜				
一般入学試験	Ⅰ期	10名	平成30年１月18日（木）～平成30年２月１日（木）	平成30年２月４日（日）	平成30年２月６日（火）
	Ⅱ期		平成30年２月15日（木）～平成30年３月１日（木）	平成30年３月４日（日）	平成30年３月６日（火）

※試験会場：東京歯科大学短期大学（水道橋校舎本館）

2．出願資格

推薦入学選考（高等学校長推薦）

次の条件をすべて満たす女子。

1．平成30年３月高等学校（中等教育学校を含む）卒業見込みの者，あるいは平成29年３月高等学校を卒業した者。
2．人物・性格・学力ともに優れ，健康である者。
3．入学を許可された場合，必ず本学に入学することを確約できる者。

推薦入学選考（社会人・学士等特別選抜）

本学の一般入学試験の受験資格を有する者で，歯科医療従事者の一員として社会に貢献するために，本学への入学を強く希望する者。さらに入学を許可された場合，必ず本学に入学することを確約できる者。次の項目のいずれかに該当する女子。

1．平成30年３月末までに２年以上の就業経験を有していること。
2．大学，短期大学を卒業，あるいは平成30年３月卒業見込みであること。

一般入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）

次の項目の１つに該当する女子。

1．高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者。
2．通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
3．外国において，学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
4．文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した，在外教育施設の当該課程を修了した者。
5．文部科学大臣の指定した者。
6．高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
7．その他大学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，平成30年３月31日までに18歳に達した者。

※本項に定める「個別の入学審査」により受験資格を得ようとする者は，本学所定の様式により書類審査を行うので事務室へ問い合わせること。なお，個別の入学資格審査の申請手続は入学試験出願受付開始の２週間前までとする。

3．試験内容

入試区分		選考内容・試験内容
推薦入学選考	高等学校長推薦	(1)　書類審査（推薦書，調査書，自己推薦書） (2)　基礎学力検査 ①　国語（古文，漢文を除く） ②　英語 ③　理科の基礎問題（物理基礎，化学基礎，生物基礎の範囲から１科目選択） ④　数学 (3)　面接
	社会人・学士等特別選抜	(1)　書類審査（自己推薦書，最終学歴の調査書又は成績証明書） (2)　小論文 (3)　面接
一般入学試験	Ⅰ期	(1)　書類審査（調査書） (2)　学科総合試験 ①　国語（古文，漢文を除く） ②　英語 ③　理科（物理基礎，化学基礎，生物基礎の範囲から１科目選択） ④　数学 (3)　面接
	Ⅱ期	

4．学費・諸納付金

区分	入学時（１年次前期）	１年次後期（10月）	２年次前期（４月）	２年次後期（10月）	３年次前期（４月）	３年次後期（10月）
入学金	300,000円					
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設維持費	300,000円		300,000円		300,000円	
計	950,000円	350,000円	650,000円	350,000円	650,000円	350,000円

※　その他，教科書代，ユニフォーム代等の費用として，３年間で約50～60万円程度の納付を要する。

※　入学手続き，その他詳細は，「平成30年度　学生募集要項」をご覧ください。
学生募集要項は，以下の web サイトから請求可能です。
https : //telemail.jp/_pcsite/?des = 113500＆gsn = 1135000





学校法人東京歯科大学の法人役員，東京歯科大学の基礎系講座および臨床系講座・研究室の構成と主任をお知らせいたします。今後の“母校だより”では，各講座・研究室の紹介を順に行っていく予定です。

また併せて水道橋病院，千葉病院，市川総合病院の診療科および部長（科長）をお知らせいたします。各病院の診療科の構成を知っていただき，大学病院へコンタクトする際の参考にしていただければ幸いです。

法人役員

（平成29年６月１日から）

井出　吉信	理事長（総括）
石井　拓男	常務理事（財務・人事担当）
西田　次郎	常務理事（病院担当）
矢﨑　秀昭	常務理事（校友担当）
一戸　達也	常務理事（学務担当）
加藤　靖明	常務理事（庶務・建設担当）
鹿島　隆雄	理事
金森　越哉	理事
松尾　邦弘	監事
水野　嘉夫	監事

講座・研究室と主任

（平成29年８月31日現在）

解剖学	阿部　伸一　教授
組織・発生学	山本　仁　教授
生理学	田﨑　雅和　教授
生化学	東　俊文　教授
微生物学	石原　和幸　教授
薬理学	笠原　正貴　教授
歯科理工学	服部　雅之　教授
衛生学	杉原　直樹　教授
法歯学・法人類学	橋本　正次　教授
歯内療法学	古澤　成博　教授
歯周病学	齋藤　淳　教授
保存修復学	村松　敬　教授
小児歯科学	新谷　誠康　教授
口腔顎顔面外科学	柴原　孝彦　教授
口腔病態外科学	片倉　朗　教授
歯科麻酔学	一戸　達也　教授
老年歯科補綴学	櫻井　薫　教授
クラウンブリッジ補綴学	佐藤　亨　教授
パーシャルデンチャー補綴学	山下秀一郎　教授
歯科矯正学	末石　研二　教授
歯科放射線学	後藤多津子　教授
口腔インプラント学	矢島　安朝　教授
臨床検査病理学	井上　孝　教授
口腔健康科学	福田　謙一　教授
オーラルメディシン・口腔外科学	野村　武史　教授
内科学	西田　次郎　教授
外科学	松井　淳一　教授

水道橋病院 診療科および部長（科長）

（平成29年８月31日現在）

病院長	矢島　安朝　教授
保存科	古澤　成博　教授
小児歯科	新谷　誠康　教授
口腔外科	片倉　朗　教授
歯科麻酔科	一戸　達也　教授
歯科麻酔科*	松浦　信幸　准教授
補綴科	佐藤　亨　教授
矯正歯科	末石　研二　教授
放射線科	後藤多津子　教授
口腔インプラント科	矢島　安朝　教授
健康スポーツ歯科	武田　友孝　准教授
摂食嚥下リハビリテーション科	石田　瞭　教授
障がい者歯科・ペインクリニック科	福田　謙一　教授
臨床検査部	井上　孝　教授
内科	山岸　由幸　准教授
眼科	ビッセン弘子　教授

千葉病院 診療科および部長（科長）

（平成29年８月31日現在）

病院長	一戸　達也　教授
口腔外科系（口腔外科，歯科麻酔科，放射線科）	柴原　孝彦　教授
育成歯科系（矯正歯科，小児歯科）	米津　卓郎　講師
一般歯科系（保存科，補綴科，総合診療科）	高橋　俊之　准教授
専門歯科系（口腔インプラント科，臨床検査部，摂食嚥下リハビリテーション科，健康スポーツ歯科，口腔ケアセンター）	伊藤　太一　准教授
内科	大久保　剛　教授

市川総合病院 診療科および部長（部長代理）

（平成29年８月31日現在）

病院長	西田　次郎　教授
歯科・口腔外科	野村　武史　教授
内科	寺嶋　毅　教授
消化器内科	西田　次郎　教授
消化器内科*	岸川　浩　准教授
循環器内科	大木　貴博　准教授
神経内科	村松　和浩　教授
呼吸器内科	寺嶋　毅　教授
小児科**	西田　次郎　教授
外科	松井　淳一　教授
脳神経外科	菅　貞郎　教授
心臓血管外科	申　範圭　教授
整形外科	穴澤　卯圭　教授
リハビリテーション科	堀田　拓　准教授
産婦人科	髙松　潔　教授
眼科	島﨑　潤　教授
耳鼻咽喉科	中島　庸也　教授
泌尿器科	中川　健　教授
放射線科	最上　拓児　准教授
皮膚科	髙橋　愼一　教授
形成外科	田中　一郎　教授
麻酔科	大内　貴志　准教授
麻酔科*	印南　靖志　講師
精神科	森本　陽子　講師
臨床検査科	佐々木　文　教授
緩和ケア科	小板橋俊哉　教授
救急科	鈴木　昌　教授
角膜センター長	島﨑　潤　教授
リプロダクションセンター長	吉田　丈児　教授
口腔がんセンター長***	西田　次郎　教授

*部長代理
**部長代行
***代　行

準会員のページ

第49回全日本歯科学生総合体育大会結果について

第49回全日本歯科学生総合体育大会が８月１日～８月10日，岡山大学を事務主管で開催されました。

本年は，昨年度と同様総合順位は６位でした。今年の総合成績は，愛知学院大学が圧倒的得点で優勝でしたが，４位から７位までが２点差，どこかのクラブがあと２点獲得すれば東京歯科大学は４位という結果でした。

各クラブの健闘の結果は表のとおりです。結団式では優勝を目指すと宣言していた毎年上位にいるクラブも，ちょっとした油断からか１回戦敗退という状況も起こっています。また，過去には上位入賞していたクラブもクラブ員の不足から団体戦に出場できないクラブもあります。ぜひ同窓の先生方，ご自分の所属していたクラブを応援してあげていただきたいと思います。

第53回のこの大会（東京オリンピック開催の2020年の冬の部門から2021年の夏の部門）を東京歯科大学が事務主管をすることが決定しています。来年入学する学生がクラブ運営の中心になる４年生となるときです。

今後，より一層のクラブ活動へのご支援をお願い申し上げます。　　（学生部長・佐藤　亨 記）

○日　　程：８月１日（火）～８月10日（木）
○事務主管：岡山大学歯学部
○総合順位：第６位（昨年度同様）

順位	大学名	ポイント	参加学生数	参加部門数
優勝	愛知学院大学歯学部	152.25	500	24
準優勝	九州歯科大学	130.50	385	18
３位	日本大学歯学部	120.75	438	20
４位	大阪歯科大学	100	427	20
５位	明海大学歯学部	99	351	18
６位	**東京歯科大学**	**98.75**	**422**	**21**
７位	日本歯科大学生命歯学部	98	405	19
８位	昭和大学歯学部	83.75	211	15

※獲得ポイントは部門の参加校数により決定



各部の主将が決意を述べる第49回全日本歯科学生総合体育大会の結団式



選手宣誓をする空手部主将宍戸裕介君（個人戦優勝３連覇）

○各入賞部門：

順位	獲得点数	部門
優勝	0	少林寺拳法部
準優勝	15 14	水泳部 バレーボール部
３位	13 12	硬式庭球部 弓道部
４位	10 5 2	卓球部 空手道部 フットサル部
５位	7 6 0	陸上競技部 スキー部 ヨット部
８位	5	ゴルフ部
９位	4 1.75	バドミントン部 サッカー部
10位	4	バスケットボール部



閉会式で６位のカップを受け取った歯学体正評議委員の脇田一郎君（ラグビー部主将）

支部のうごき

北海道地域支部連合会

平成29年度通常総会・懇親会報告

平成29年８月19日(土)札幌第一ホテルにおいて北海道地域支部連合会通常総会・懇親会を今年度は札幌支部が担当で全道の会員が参加しやすい北海道歯科学術大会の日程に合わせて開催された。

総会に先立ち午後５時より支部長会が来賓として同窓会本部より矢﨑秀昭会長，臼井文規専務理事を迎え開催された。全道９支部の支部長から会員の高齢化や減少，そして数少ない同窓の子弟さえなかなか地元に戻ってこない現状が報告された。次年度総会は空知支部が担当して開催されることが確認された。

通常総会は午後６時より大学より井出吉信理事長・学長が来賓に加わり会員51名の参加を得て開催された。開会，校歌斉唱に続き，この１年で亡くなられた５名の会員に対して黙祷が捧げられた。戸田徳和連合会会長挨拶に続き，矢﨑会長から母校水道橋本館西棟完成の完成報告，同窓会に対する支援のお願い等のご挨拶をいただいた。続いて米寿４名喜寿３名のお祝い贈呈，今回支部長交代のあった小樽支部，十勝支部の前支部長に記念品贈呈が行われた。その後議事に入り，上程議案はいずれも無事承認された。

総会終了後，井出学長から詳細な大学近況報告がされた。その中で，今の学生が2040年頃75歳以上の老人に対応できるような教育を目指すことが大学の基本方針であると強調されていた。

引き続き臼井専務理事より熊本地震支援金報告，支部未加入者対策，共済制度見直し等の同窓会本部報告があった。

集合写真撮影後，今回担当の札幌支部の中野一博支部長の開会で午後８時にやっと懇親会の開宴となった。すすきのへの２次会移動のため予定を30分前倒しして９時30分次期総会開催地の原岡研二空知支部長の〆の乾杯で無事終了となった。

（昭和58年卒・山口　令 記）



東北地域支部連合会

第54回総会

平成29年６月10日（土），青森市「ホテル青森」にて第54回東北地域支部連合会総会が開催されました。同窓会本部より矢﨑秀昭同窓会会長，臼井文規同窓会専務理事，田島　守同窓会地域理事，母校より歯内療法学講座古澤成博教授をお迎えし，宮城県５名，山形県７名，秋田県５名，福島県５名，岩手県３名，青森県27名の出席を頂きました。

総会に先立ち役員協議会が開かれ，各支部からの報告の後，会則の一部改正や福祉共済制度の見直しについての協議がされました。総会では長内幸一東北地域支部連合会会長（青森県支部長）の挨拶の後，ご来賓の矢﨑会長，田島地域理事，そして青森県歯科医師会の山口勝弘会長よりご挨拶をいただきました。

古澤教授と臼井専務理事はスライドでそれぞれ大学と同窓会の現状のお話をしてくださいました。大学では西棟の完成や本館の改修で新しい設備を充実させ短期大学の学生さんを迎えられたこと，千葉校舎の改修も進んでいること，市川病院では医科歯科連携のカルキュラムなどを見せていただきました。また先生方の大変なご尽力で歯科医師国家試験の高合格率を続けているとのことで，同窓としては誇らしいかぎりです。

同窓会では熊本地震への対応や，未加入同窓の支部加入促進対策のお話しがありました。また共済制度に関しては「総務厚生委員会」の答申を受け，理事会での決定を経て評議委員会に議案として提出される予定となっているとのことでした。

議長に長内幸一先生，宮城県支部の黒澤祐一先生を副議長に総会は進められました。逝去会員への黙祷，各種報告，決算・予算や協議事項の承認と無事総会は閉会いたしました。

総会終了後は古澤成博教授による「進化する歯内療法の診断と処置」と題した学術講演会となりました。最新の歯科用コーンビームCTやNi-TIファイルの応用，マイクロスコープの活用についてご講演くださいました。他にも私たちが毎日行う根管治療のワンポイントアドバイス的なお話や治療薬の選択など，臨床直結のことを改めて学ばせていただきました。

記念撮影の後，懇親会に移りました。松山陽一青森県顧問の乾杯のご発声で幕を開け，東北電力ねぶた愛好会囃子方「電囃会」によるねぶた囃子で大いに盛り上がりました。囃子にあわせて跳ねた（踊った）先生方もいらして，少し早めに祭りの雰囲気を味わっていただいたのではないでしょうか。和やかな雰囲気で交流を楽しみ，次期開催の宮城県への連合会旗引継ぎが行われ，校歌斉唱で終宴となりました。

翌日はゴルフ大会も開催されました。11名の参加があり，秋田県支部の五味明雄先生がみごと優勝されました。

（昭和63年卒・古川由美子 記）



写真が同窓会ホームページ≪http : //www. tdc-alumni. jp≫に掲載されています。

北陸地域支部連合会

平成29年度　学術講演会・総会

本年度の北陸地域支部連合会学術講演会・総会は，同窓会本部より矢﨑秀昭会長・臼井文規専務理事，母校より井出吉信学長をお迎えして，去る５月27日富山県支部を当番県として46名の参加を得て富山第一ホテルにて開催されました。



学術講演会は，「史上最大の暗殺軍団デンタルプラークとのバトル」と題して，東京歯科大学名誉教授奥田克爾先生にご講演いただきました。これまでの研究生活を振り返りながら語られた，口腔感染症との闘いへの熱い情熱を伺うにつれ，我々臨床医は口腔保健へこれまで以上に真摯に取り組まなければならないと決心を新たにしました。

引き続き行われた総会では，矢﨑会長のご挨拶の後，井出学長から大学の近況報告を，臼井専務理事から同窓会の近況報告をしていただきました。ついで野田　修富山県支部長を座長として議事に移り，北陸地域支部連合会の次期会長に加藤成俊石川県支部長を全会一致で選出しました。

懇親会は，矢﨑会長・井出学長・山崎安仁富山県歯科医師会長にご祝辞をいただいた後，伊藤透福井県支部長による乾杯で始まりました。２年ぶりの地域支部連合会ということもあり歓談の輪は大きく広がり，あっという間に時が過ぎて行きました。全員による校歌斉唱の後，最年長の中川忠夫先生（昭和32年卒・石川県支部）の万歳三唱でお開きとなりました。



翌28日は，矢﨑会長・臼井専務理事をはじめ会員奥様の参加もいただいて，立山雪の大谷観光に出かけました。今年の積雪量は例年になく多く，雲一つない快晴の中，聳え立つ14メートルの雪の壁の絶景に一同感動しきりでした。

次回は，平成31年に石川県支部が当番県となって，金沢市で開催の予定です。

（昭和61年卒・山田雅敏 記）



近畿地域支部連合会

平成29年度同窓会ゴルフコンペ

平成29年５月14日（日），京都府支部の担当で近畿連合同窓会のゴルフコンペが開催されました。場所は日清都カントリークラブで，京都府より５名，滋賀県より５名，和歌山県より４名，兵庫県より３名，大阪府より３名，計20名と例年よりも多くの先生方が参加してくださいました。





当日は快晴で，コースの緑と澄み切った青空，そして今を盛りと咲き誇っている色とりどりのツツジが非常に美しかったです。また，プレー中にも宇治の街並みや宇治川を見下ろすことができ，そのダイナミックな眺望に立ち止まってみとれてしまうことが何度かありました。そんな美しいコースではありますが，アンジュレーションがきつくグリーンも読みづらかったので，難しく感じました。競技方法はダブルペリアで行われ，優勝は滋賀県の中瀬一輝先生でアウト45，イン39のトータル84，HDCP13.2，ネット70.8でした。ベストグロスは滋賀県の中村忠先生でアウト43，イン39のトータル82でした。その他ニアピン，ドラコン，ドラたんも競われ，競技終了後に懇親会と結果発表，賞品授与が行われました。

前日の夜には京都室町の北京料理店「膳處漢ぽっちり」にて懇親会が開かれました。懇親会には大阪府支部長の稲野順治先生も参加され，お料理も正統派の中華のフルコースで大変おいしく豪華なもので，大いに盛り上がりました。

次回近畿地域支部連合同窓会ゴルフコンペは大阪府支部の担当で，平成30年５月13日（日）に行われる予定です。遠方からこられる先生方にはホテルをご用意し前泊していただくこともできますので，もし参加していただける先生がいらっしゃいましたら各支部長や福祉担当理事，或いはゴルフ担当者にご連絡をお願い致します。

今回もお忙しい中参加していただいた先生方，並びに手配していただいた先生方のご尽力のお蔭で楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。また来年クラブハウスでお会いできるのを楽しみにしています。

（大阪府支部広報・
平成15年卒・髙木祥広 記）



中国地域支部連合会

平成29年度総会

７月１日(土)，広島県歯科医師会館にて平成29年度東京歯科大学同窓会中国地域支部連合会総会および記念学術講演会が10年ぶりに広島で開催されました。柏村　真専務の司会のもと野間　博広島県支部長による開会の挨拶，矢﨑秀昭同窓会会長の挨拶の後，野間　博氏が議長に選出され，まず報告事項として井出吉信学長の大学の現況報告，早速晴邦同窓会副会長による同窓会の現状報告に続いて中国地域各県支部現況報告が行われました。その後，協議事項に移り前回の収支決算や次期当番県の確認などが承認されました。

続いて同会場にて副学長で法歯学・法人類学講座の橋本正次教授をお迎えし「大規模災害犠牲者の身元確認における臨床歯科医の役割」と題してご講演いただきました。犠牲者の身元確認に歯科的証拠が有効であることは知られているが，実際にどのような情報収集を行いどのような手順で個人識別を行っていくのか，また臨床歯科医としてどのような協力ができるのかなど，実際に先生が行かれた飛行機事故・爆発・津波など様々な災害の貴重な資料なども踏まえながらご講演いただきました。また北朝鮮の拉致被害者の身元確認についても触れていただきました。皆熱心に講演を拝聴し興味の高さがうかがえました。







講演終了後，ホテルグランヴィア広島に場所を移し，上本佳孝先生の司会進行のもと平地茂雄広島県支部副支部長の挨拶の後，髙木勇藏広島県支部顧問の乾杯で懇親会を行いました。途中で広島文教女子大学和太鼓部『仁』による和太鼓の演奏があり終始和やかな雰囲気で昔を懐かしみながら語り合いました。最後に時期当番県の山口県支部の万歳三唱で２年後に再会することを誓い，高橋秀樹広島県支部副支部長の閉会の辞でそれぞれ２次会へと解散となりました。

翌日は天候にも恵まれ希望者はゴルフ，また初の企画であったパーティールームでのカープ観戦を行い，カープは鈴木誠也選手の逆転３ランで劇的な勝利をおさめ皆で喜びを分かち合い散会となりました。

（平成10年卒・青木　裕 記）



四国地域支部連合会

平成29年度総会

平成29年５月27日（土），午後２時30分より四国地域支部連合同窓会総会・学術講演会・懇親会が香川県高松市にある「JR ホテルクレメント高松」にて開催されました。ご来賓として早速晴邦同窓会副会長，中島信也同窓会常任理事，母校より学長代行として櫻井薫教授をお迎えし，四国４県から43名の同窓が参加されました。

総会は校歌斉唱から開会し，物故者への黙祷，開催県支部長である藤本　清香川県支部長の挨拶の後，来賓挨拶として早速晴邦同窓会副会長，中島信也同窓会常任理事が同窓会の現況を報告されました。つづいて四国地域支部連合会沖　義一会長の挨拶の後，櫻井薫教授より，今年行われた歯科医師国家試験および大学入試結果について，今年新設された短期大学について，さらに教育・臨床・研究を含めた大学の現状について解り易く説明をいただきました。協議事項は同窓会未入会問題について意見交換を行いました。四国地域では他の地域と比較して高い同窓会入会率となっています。その理由として，地元歯科医師会を基としたネットワークが背景にあることが推察されました（特に入会時に大学同窓会に勧誘しやすい）。最後に，次期開催県支部長である松木建二愛媛県支部長からの挨拶をいただきまして閉会となりました。

学術講演は本学老年歯科補綴学講座 櫻井　薫教授に『口腔機能低下症をご存知ですか』という演題にてご講演いただきました。超高齢化時代において要介護予防に歯科が関与できることについて，他分野の方々とコミュニケーションがとれる用語解説も含め，科学的根拠を交えながら解説していただきました。

記念写真撮影の後，午後６時30分よりご来賓として豊嶋健治香川県歯科医師会会長が加わり，懇親会が行われました。声楽家として県内外でご活躍の姉弟ユニットによる歌声をバックミュージックとして，地元瀬戸内の旬の食材を使った料理に舌鼓を打ちつつ，会場各所にて１年ぶりの再会に親睦を深めながら終宴となりました。二次会は高松の繁華街に場所を変えて行われ，そして翌日の親善ゴルフ大会は「満濃ヒルズカントリークラブ」にて開催され（優勝：愛媛県支部松木建二先生），無事すべての日程を終了いたしました。

（平成８年卒・髙橋　巧 記）



神奈川県支部連合同窓会

８月６日（日）に，平成29年度の会員家族レクリエーションが行われました。今回は，趣向をかえて神奈川芸術劇場で開催中の劇団四季によるミュージカル「オペラ座の怪人」鑑賞と横浜中華街，北京ダック専門店での懇親会を企画しました。

人気のミュージカルとあってまとまったアリーナ席が確保できず，１階から３階席で立ち見席を含めて34席しか確保出来ず，キャンセル待ちの会員が出るほど盛況でした。例年同様の猛暑の中，34名の参加者は神奈川芸術劇場に集合し，ミュージカル鑑賞しました。

「オペラ座の怪人」といえば，何度もリバイバルされ映画化もされている不朽の名作ですが，誰しも有名な劇中曲や仮面の男の事についてはよく知っておりますが内容についてはあまりよく知らなかったのですが，どの時代においても恋する男の妬みや嫉妬があり，今の時代は決して美談にはならない悲しい物語でした。

終了後に集合写真を撮影し中華街の懇親会会場の「北京烤鴨店」にて美味しい北京ダックを堪能しながら横浜北部支部の續ご夫妻の発案で作成した（即席ファントムマスク）を各々着けながらあっという間に時間が過ぎ，笑いの絶えない楽しい懇親会でした。

参加者からは“楽しかったよ”，“良かったよ”と声をかけていただき満足して解散となりました。

（平成４年卒・佐久間啓文 記）















群 馬 県 支 部







平成29年度総会・学術講演会

平成29年度の群馬県同窓会　総会・学術講演会は，７月１日（土）に群馬が誇る名湯の一つである伊香保温で創業400年を誇る老舗旅館「福一」でおこなわれた。

例年は暑い晴れた日であるが，天候不順からか？珍しく今年は雨の日となってしまった。

総会は物故会員に対しての黙祷の後，本部報告として髙橋潤一常任理事から熊本地震での救済の報告と支部入会者が減少傾向にあり引き続き活動を行っていく事，そして共済制度の見直しなどについて報告があった。その後，長澤宥先生を議長として選出し，平成28年度の事業報告ならびに一般会計収支決算と一緒に関東地域支部連合会総会の収支決算の承認がされた。また原会長より会計期間と役員の交代時期の変更についての具申があった。

講演会は，東京歯科大学　歯内療法学講座　古澤成博教授をお招きして「難治性根尖性歯周炎の原因とその対処法」という演題でお話をしていただいた。根幹治療を成功に導くためには，最初の根管治療とラバーダムなどの感染予防が重要であると語られていた。そしてイスムスを確実に除去する事と上顎大臼歯の MB２の存在を認識する。

学生時代から苦手？上手くならない？と思っていた根管治療であったが，古澤教授のお話をお聞きして，目から鱗で苦手意識が払拭され，早く根管治療をしてみたいと思ってしまった。

講演会の後は，伊香保温泉の茶褐色の名湯「黄金の湯」を堪能し，懇親会へと移っていた。懇親会では前県歯会長の川越文雄先生の80歳を超えているとは思えない声の張りのある乾杯の音頭と大杯を飲み干すお姿で開始され，私たち若輩者もそのお姿に刺激され，例年以上に盛り上がりそれぞれが懇親を深め，深夜まで明日の群馬県や日本の歯科界の将来について世代を超え語り合いながら楽しい一夜を過ごした。

翌朝は雨もあがり，高原の爽やかさが伊香保温泉に戻っていた。

（平成１年卒・片野勝司 記）



栃木県支部

第２回那須地区懇親会

上記の集まりが５月13日(土)旧西那須野町割烹「いとう」でありました。第１回目は調べたところ平成元年６月24日でした。なんと30年近く経ってやっと２回目が実現したわけです。

初回は私が歯科医師会に入会し，地元同窓会に挨拶がてらということで，開かれました。２回目は次に入会した後輩の時にと考えていましたが，気が付いたら今になったわけです。その間，地元同窓会の序列は全く変わらず，相変わらず私が一番下という異常事態が続いております。絶滅寸前でワシントン条約で保護してもらいたいところです。

この状態を憂えたある先輩が，このままでは同窓会員がいなくなってしまう。その前に一度集まろうという話になり，急きょ開催致しました。那須地区には同窓が８人います。生憎の雨模様の中，なんと全員出席しました。

黒羽在住の鈴木先生は宗匠頭巾を被り，着物姿で登場し，まるで松尾芭蕉のようでした。物故会員への黙祷のあと，一人一人の近況報告から入りました。トップバッターの鈴木先生は今でも現役で昭和24年卒。当時の大学状態，また我々とは接点はありませんが，同窓なら誰でも知っているような名物教授との関係を話して頂き，絆を感じました。

宴もたけなわとなり，鈴木先生には，袴を着け高砂を自ら謡い踊って頂き，そして驚いたことに，力強くドシンドシンとステップを踏みました。年齢を想像してみて下さい。先ごろ，歌集「婆娑羅一代」と小説集「珂神」を同時に上梓しました。



懇親会は和気あいあいのうちに進み，最後は校歌となりました。CD の用意が間に合わず，スマホに載っている校歌に合わせて歌いました。一度ユーチューブの校歌を聴いてみて下さい。かなりユニークです。歌詞カードは用意しましたが，漢字が読めず，それでも無茶振りで最後４番まで歌い，大爆笑の内にお開きとなりました。次年度も安否確認の意味も含めて開催する予定です。

同窓会栃木県支部総会は12月３日(日)ホテルニューイタヤで開かれます。今回の記念講演は立川談志の弟子で立川談幸を予定しております。師匠談志の元で，唯一５年間内弟子生活を経験し，談志のすべてを知っていると云われている男です。先ごろ，落語立川流から落語芸術協会に移籍して，ますます活躍の場を広げております。なお，本人は脱北と呼んでいますが…

出席の先生です。敬称略

鈴木和雄（昭24）・中江千万紀（昭39）・三田勇夫（昭44）・本田　功（昭44）・大関　亮（昭49）・小滝正人（昭49）・小島武彦（推）・矢島俊助（昭55）

（昭和55年卒・矢島俊助 記）



横浜南部支部

夏の会員・家族・従業員
レクリエーション開催

平成29年８月26日（土），横浜南部支部の夏のレクリエーションが横浜市港南区京急百貨店内の本格フレンチレストラン「ル・パンバーラヴァン」において開催された。

会は午後７時に浅川　仁厚生担当理事の司会で開会，鈴木信治支部長の挨拶のあと，ますますお元気な山下正雄相談役の乾杯のご発声で開宴した。

料理は，鳥取産松葉ガニとアボガドのサラダの前菜で始まり，ホワイトアスパラガスの冷製，真鯛のロースト，特選牛フィレ肉のグリルと続き，厳選された食材を活かした料理をそれぞれ堪能した。

今回は来賓をお呼びしなかったので，いわゆる内輪の気の置けない会となり，ざっくばらんな談笑の輪が広がった。





途中，サプライズで突然マジシャンが入場し，カードマジックが披露された。慣れた手つきでカードを捌く目にも鮮やかなテーブルマジックに，一同の視線は釘付けとなった。

自家製マンゴーのアイスクリームと千葉県産幸水梨のデザートが出された頃，ちょうどお開きとなり，山下　誠副支部長の閉会の挨拶の後，恒例の記念写真を撮影してお開きとなった。

退席の際，先ほど登場したマジシャンが早変わりしてお会計を担当したが，これもビッグサプライズであった。

（昭和63年卒・渡邊宇一　記）











愛知県支部

平成29年度学術講演会

7月9日（日）に愛知県歯科医師会館にて東京歯科大学愛知県同窓会の平成29年度の学術講演会が行なわれました。演題は「歯科臨床のための機能解剖学」で講師は東京歯科大学解剖学講座主任教授の阿部伸一先生です。

ご講演の前半部分では歯科臨床のために知っておきたい機能解剖学の知識として，有歯顎の歯槽部を含んだ顎骨内の構造と歯を喪失した顎堤部分の顎骨内の構造の相違と，インプラント埋入後の顎骨内の構造の変化についてお話戴きました。続いて総義歯作成のために知っておきたい解剖学として，解剖学的見地からの義歯床縁の設定の根拠について説明して戴きました。さらに口腔内小手術，インプラント治療のために知っておきたい解剖学として，口腔内小手術，特に第三大臼歯（水平埋伏歯）の抜歯やインプラント手術に際して注意を要する神経として，最後臼歯の舌側の奥に位置する舌神経に注意を払う事，加えてインプラント手術に際しての下歯槽神経の損傷や，インプラントによる下歯槽神経への近接・圧迫での下口唇麻痺にも注意が必要で，臨床的に下歯槽神経までの距離に余裕をもたせることが大切で在る事や，オトガイ孔より出た神経は麻痺が出やすく，切歯孔から出た神経，切歯枝は麻痺が出ないなど部位により差異がある事などを解説して戴きました。



講演の後半は，口腔機能の健全な発達とそのメカニズムについてコスメティック的な要素も含め解説して戴きました。さらに口腔機能の知識の延長にある「総義歯作成の勘所及び関連する高齢者の咀嚼・嚥下機能」に関し，解剖学的側面からお話を戴きました。姿勢と頭の位置と首の骨（環椎，軸椎）の関係や，口の周りの筋肉の運動や顎関節の動きについて，エックス線テレビを使用した嚥下の動態などを詳しく具体的に説明して戴きました。

続いて行なわれた質疑応答では，出席された若手の同窓会員をはじめ，他校の先生方からの質問も多数あり，臨床の疑問に解剖学の面から懇切丁寧にお答えを戴きました。その後，場所を変えての懇親会では，最年長で参加して戴きました橋本京一先生に，ご挨拶と乾杯のご発声をお願いしました。



挨拶の中で，御年94歳になられ，お孫さんがお二人東京歯科大学をご卒業になり，めでたく国家試験を合格して歯科医師に成られた事や，ご自身の健康についてお話されました。年を重ねることは素晴らしい事であるということを実現されている橋本先生には後輩一同尊敬の念にたえません。これからもご自身が目標とされている100歳までご活躍して戴きたいと思っています。懇親会では阿部教授の同級生の同窓の先生も駆けつけて下さり，ご友人共にリラックスされて旧交を温め，歓談されていました。阿部教授の益々のご活躍を期待しております。

（昭和57年卒・久野昌士 記）



平成29年度若手勉強会・社会保険研修会（共催）

５月21日（日）14時より，愛知県歯科医師会館において愛知県同窓会若手勉強会と社会保険研修会が開催された。若手勉強会は平成24年から始まり，年に一度開催されてきた。移りゆく時代の中で，若手歯科医師はこれからの歯科界を引っ張っていく必要がある。若い世代がお互いに情報を交換し刺激しあい，先輩方からアドバイスを頂き，成長し続ける場としてこの勉強会は６回目を迎えることとなった。演者は「毎日の診療から・Ⅵ」と題して，現在開業医として活躍している２名の若手の先生が講師として選ばれた。

最初の演者は，平成17年卒名古屋市名東区開業の成瀬晋一先生より「当院の診療で気になること，あれこれ」と題して発表が行われた。成瀬先生は大学卒業後，本学口腔病理学教室で研鑽を積まれ，現在は父親（成瀬　健先生）と共に地域医療に携わっている。発表内容は，臨床で経験した抜歯時のソケットプリザベーションや残根歯のエクストルージョンの症例と，自身の大学院時代の研究分野であった歯根膜による骨リモデリングの研究成果を交えお話された。また最近ラグビーで損傷した自身の膝における手術について話され，医科において歯科で用いるPRGFが応用されていることや，損傷部の再生における移植について歯科分野と関連する内容があると発表された。

次に平成８年卒，愛知県豊明市開業の外山敦史先生より「地域包括ケア時代の歯科医療を考える」と題して発表が行われた。外山先生は大学卒業後，愛知学院大学口腔衛生学講座にて研鑽を積まれ，現在は一般診療と訪問診療を中心に地域医療に携わっている。発表内容は，急激な超高齢化により歯科医療のニーズが変化している中で，在宅要介護者の増加により多職種と連携を取りながら訪問診療を行うことが求められること，介護予防として摂食機能の維持・向上のための支援体制が求められていることを，統計学と臨床経験に基づき発表された。また，地域包括ケアシステムの構築には，郡市区歯科医師会が積極的にかかわっていく必要があることもお話しされた。

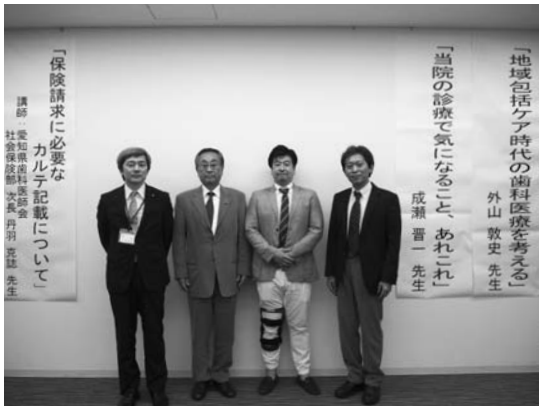
その後，社会保険研修会として愛知県歯科医師会社会保険部次長で平成４年卒の丹羽克誌先生にお願いし，「保険請求に必要なカルテ記載について」と題して講演が行われた。改訂直後の新着情報を得ることができ，集まった先生方は大変有意義な内容に満足している様子であった。若手勉強会及び社会保険研修会は，先輩，後輩ともに良い刺激となり，明日からの診療の活力を与えて頂ける内容であった。

（平成13年卒・酒井　聡 記）











愛 媛 県 支 部

第71回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会　東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座　口腔病態外科学講座　オーラルメディシン・口腔外科学講座との懇親会

第71回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会が平成29年４月26日（水）～28日（金）に松山市のひめぎんホールで開催されました。松山市での開催は2000年以来２度目になります。その時，当時の東京歯科大学口腔外科学系３講座の学会参加者に対して，数名の東京歯科大学同窓会愛媛県支部会員が，あちらこちらの会場でばらばらに歓迎会をやりました。今回，それを経験していたメンバーがこの企画の発起人になりました。

昔から同窓会愛媛県支部では，愛媛県特に松山市に講師などで来られる同窓生に対して歓迎会をしようという決まり事があります。県歯，郡市会，スタディグループ，歯科業者等の…歯科医師会，衛生士会，技工士会等主催に拘らず歓迎しようという趣旨です。我々の愛媛県支部では，同窓生講師来県予定の情報が入って来ると，同窓会で県内の同級生，同じ講座，同じ部活，面識のある人等を抽出して行き，いればその各々が担当者となり情報を交換して協力し合って主催者側と相談して歓迎会を企画します。そして同窓会長による内容の監修の後，県内同窓会全会員に案内して周知するようにしています。今回は，愛媛県母校口腔外科学系出身者10名の同窓会員と幹部で準備委員会を立ち上げ，役割分担して歓迎懇親会の企画準備を行いました。

今回の学術集会参加者への歓迎会を主催するにあたり，本来の愛媛県支部の決まり事であれば，「４月27日（木）　今，松山にいる東京歯科大学同窓生のみなさん，全員集合！」ということになるのですが，東京歯科大学以外に慶応大学，東京慈恵会医科大学，東京女子医科大学，東海大学，岡山大学等所属が多岐に及んでおり，案内をするにあたり収拾がつかなくなってしまいました。そんなわけで，今回一次会は母校口腔外科現役医局員の先生方に，二次会はそのメンバーに他の関係で学会に参加されている母校同窓生で都合がついた先生方に合流していただき懇親の輪をひろげていく事が出来ました。

懇親会一次会は，母校麻酔科OB 宇和島市出身なのに今や松山道後の顔になりつつある久保田敦先生の計らいで，老舗旅館道後ふなやで行いました。司会進行は今回幹事の宮部が務めました。松木建二会長の歓迎のことばで始まり，その後来賓として大会中でお忙しいにもかかわらず今大会準備委員長である愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座准教授中城公一先生に引き続き，東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授である柴原孝彦先生，東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座教授である野村武史先生からご挨拶をいただきました。来賓として中城先生，東京歯科大学口腔外科学系３講座から12名の医局員の先生方，同窓会愛媛県支部から平日の夜にもかかわらず19名の会員が参加し，総勢32名で愛媛のお魚を中心とした和食に舌づつみながらの楽しい大歓迎懇親会となりました。

懇親会二次会は，松山全日空ホテル14階プロバンスバーに会場を移動して行われました。夜間，この会場周辺はライトアップされていて，お城山，萬翠荘などの景観は素敵に感じてもらえたようでした。柴原教授の乾杯の発声で始まり，かなり自由な懇親会となりました。途中，東京女子医科大学教授の安藤智博先生他新たに数名の先生にも加わっていただき有意義で楽しい懇親会となりました。

（昭和60年卒・宮部英明 記）



写真が同窓会ホームページ≪http : //www. tdc-alumni. jp≫に掲載されています。

福 岡 県 支 部







福陵会　総会・学術講演会

平成29年５月20日（土）福陵会の総会・学術講演会を福岡市の天神ビルで開催しました。

総会に先立ち学術講演を，母校副学長の一戸達也先生（歯科麻酔学講座教授）に，「高齢者の歯科治療のために知っておきたいこと」という演題で講演して頂きました。歯科治療の際の危険度は診断名で決定されるのではなく，本人の１．ストレッサー，２．生体応答，３．予備力（日常運動能力や疾患の重症度）を考慮することが大切であることや，抗血栓薬には抗凝固薬と抗血栓薬があり，この２つは疾病に応じて投薬されていることなど，改めて我々歯科医も全身疾患に対して更なる知識が必要であることを痛感する，有意義な講演でした。又母校の近況についても詳しくお話ししていただきました。

総会では，28年度決算報告や29年度予算案，事業計画案が承認され，又役員改選は現執行部が再任されました。

「福 陵 会」は1919年（大 正８年）同窓会の設立をということで各県の会名を披露され，福岡県は「福陵」と命名，「福陵会」が誕生しました。２年後の2019年には創立百周年を迎えるため，その記念事業も承認され総会は終了しました。

懇親会は博多料亭「稚賀榮」に会場を移し，一戸先生を囲んで先生の好物らしい「イカの活き造り」や玄界灘の新鮮な魚介類などを堪能する和やかな宴席となりました。最後に校歌斉唱，記念撮影で散会，二次会は中洲へ。

（昭和53年卒・永江健一 記）



クラス会だより

クラス会開催日程

十　　期　　会（昭和37年卒）

と　き　　平成29年10月26日（木）
ところ　　神奈川県湘南国際村センター

十 二 期 会

昭和39年卒

新潟大会

十二期会の52回目のクラス会は平成29年６月１～３日にかけて34名の同級生，ご家族の参加を得て開催されました。開催地は新潟市（ホテル日航新潟）。

この会は昭和39年に卒業してから東日本大震災の年を除いて，53年間途切れる事無く続けてきました。これも，丹野会長を中心とした十二期会の同級生のこの会を愛する気持ちがこの結果につながったものだと思います。

日程は６月１日，ホテルにて夕食会，昨年の足利大会以来の再会と健康を喜び合い，２日：日帰り観光，大河津分水路（信濃川を長岡市付近で分流し日本海に注ぐ分水路）山本五十六元帥記念会館，良寛記念館など，総会，夕食会(全員参加)，３日：豪農の館（北方文化博物館)，新発田藩下屋敷(清水園)，お昼近く新潟駅にて来年の再会を約して解散しました。

この時期は，晴天が続くのですが悪天候で佐渡の島影を確認できず残念でした。ただ幸い目的地に着くと雨も小やみになり観光にはさして問題なく幹事としては胸をなでおろしたしだいです。

前回の新潟大会は20数年前？佐渡を中心に観光しました。荒波の中，尖閣湾を観光船に乗船して湾内を一周したことを思い出します。振り返ってみれば卒業して53年間あっという間の年月です。気持ちは卒業したときと変わらないのですが後期高齢者となり体力，気力の衰えを痛感させられるこの頃です。でも，この年齢になっても34名の参加を頂いたのは素晴らしい事です。

次回は金子　譲，熊沢満夫君を中心にして神奈川県の皆様にお願いする事になりました。また来年元気で会えるように１年を過ごしたいものです。

訃報

今年２月，島田英明君が亡くなられました。残念です。彼は毎回この会に参加され，ゴルフでは華麗なスイングと素晴らしい成績を収められました。ご冥福をお祈りします。

参加者（敬称略・順不同）

山口保男･髙橋慎一･片倉恵男･伴　美智子・前田高直・鈴木　尚（ご夫妻）・山浦俊一（ご夫妻）・笠原文武（ご夫妻）・前田佳英・福田桂子・鈴木多嘉子・佐藤恵利子･熊沢睦子･岡田京子･熊沢満夫･竹内忠彦･橋本岩男･金子譲・住吉辰郎(ご夫妻)・秋山博右（ご夫妻）・丹野　研・山元雍久（ご夫妻）・森　隆・川嶋　勲・三吉聖一朗・川西信太郎・佐藤昭雄

（佐藤昭雄 記）









79　期　会

昭和49年卒

ラベンダーの見頃にはまだ早い平成29年７月１日79期会を札幌で開催しました。会員36名，夫人１名の参加でした。当日午前はサンパーク札幌ゴルフコースにて６名でゴルフを楽しみました。ゴルフ組の内４名は前日夜，ススキノの居酒屋にて夕食を共にし旧交を温めました。

夕方一時的に雨に降られましたが，道東観光からの帰途，渋滞に巻き込まれた松本寛志君夫妻を待てず，午後６時記念写真撮影し，森田康夫君の議長の下，総会に入りました。大澤　豊君（H28年８月29日逝去），米山周一君（H29年３月18日逝去）への黙祷，大塚信郎君の会長挨拶，会計報告，会則変更，次回開催地決定を行い終了しました。

その後松本君夫妻も合流して懇親会となり，会長挨拶及び鹿児島より出席の内田信友君の乾杯の後宴会に入りました。料理は道産食材を使用した会席料理で，それなりに堪能して頂けたと思います。全員から近況報告をしてもらいました。

まだまだ若い者には負けられないと現役真っ只中の人，病気と闘いながら診療中の人，そろそろ引退したいとのんびり診療している人，既に閉院したり臨床から離れた人等様々ですが，この歳になると完全な健康体は少なく病気自慢の話にもなったりします。中には肺癌末期と宣告されながら，まだ煙草を吸っている猛者もいます。

山田雅昭君の〆の乾杯で一次会はお開きとなり，引き続き同ホテル28階のラウンジで二次会となりました。その後ススキノで三次会の人達もいました。

翌２日は12名でジャンボタクシーに乗り有末　眞君企画の市内観光に出ました。メインの大倉山ジャンプ競技場では地元高校生の練習で，実際に飛ぶところを，上から下からと見ることが出来，皆さん満足された様子でした。観光終了後は佐藤英俊・真知子夫妻も合流して，サッポロビール園でジンギスカン料理と生ビールに舌鼓を打ち，解散となりました。小滝正人君もしっかり食べていましたよ。

次回は再来年（平成31年，卒後45周年）四国徳島で開催予定となりました。徳島の皆様よろしくお願いします。

（中野一博 記）



OB会・グループ・サークルだより

スキー部創立50周年記念祝賀会開催

平成29年５月28日（日），ホテルメトロポリタンエドモントに於いて「スキー部創立50周年記念祝賀会」が盛大に開催されました。北は北海道，南は長崎，海外からはアメリカまでOB・OG102名，現役部員22名，その他来賓として歴代コーチ３名が出席，総勢127名の祝賀会となりました。

スキー部部長の髙橋俊之先生（Ｓ54卒，千葉病院副病院長，千葉病院総合診療科准教授），現スキー部OB会会長の川越元久先生（平成１卒），現スキー部OB会副会長，監督の田中公文先生（平成７卒）から挨拶を頂いた後，３人のコーチそれぞれからスキー部創立50周年のお祝いの言葉を頂きました。そして1987のルスツ高原でのスキー部歯学体初優勝，2007年のかもい岳と2008年ホワイトワールド尾瀬岩鞍でのスキー部歯学体連覇の思い出，現況と現役への熱い思い，それぞれの年代のエピソードをご紹介頂きました。３人のコーチには東京歯科大学スキー部のペナントと花束が贈呈されました。そして元スキー部OB会会長の榎本洋史先生（昭和42年卒）の乾杯のご発声で祝宴が始まりました。

和やかな雰囲気となったところで，平成29年春の叙勲において旭日双光章を受章された関　泰忠先生（昭和43卒）に関先生のご令嬢である吉村泰子先生（旧姓関，平成８年卒）から花束が贈呈されました。引き続き国内で最遠方の長崎からご参加頂いた田代俊夫先生（平成７卒），国外ではアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンからご参加頂いた山本英夫先生（昭和54卒）からスピーチを頂きました。そして現役からの近況報告が終了した後に，2018年平昌オリンピックに向け日の丸を背負って活躍されている片野勝司先生（平成１卒）からスピーチを頂きました。

各テーブルが盛り上がったところで，1963年から2017年までの3247枚の思い出の写真の中から厳選された360枚を使用したスライドショーが始まり，当時の思い出話がさらに盛り上がりました。

最後に現スキー部OB会副会長髙橋潤一先生（平成４卒）の閉会の挨拶でめでたくお開きとなりました。参加者には東京歯科大学スキー部機関誌Schi Heilの50周年記念特別版とスキー部創立50周年記念ピンバッジが配布されました。

東京歯科大学スキー部の長い歴史とそれぞれの熱いスキー部愛，現役へと続く固い絆が確認できた素晴らしい祝賀会となりました。

（平成20年卒　内山　宙 記）



ボウリング部創部50周年記念総会

平成29年７月23日（日），東京ドームホテル ペガサスの間にて東京歯科大学ボウリング部創部50周年記念総会を行いました。

朝一，東京ドームボウリングセンターにてボウリング大会も行い，現役時代からマイボール，マイシューズで腕を鳴らしていらっしゃる先生方ですが，今回，マイグッツは使用禁止！石田　健先生（平成14年卒）よりご挨拶をいただき，試合が始まりました。大会中も現役の皆さんの応援もあり盛り上がりを見せました。

今回，優勝を飾ったのはご挨拶を頂きました石田　健先生でした。おめでとうございます！

会場を移動し，記念総会では多くの先生方にご参加いただき，会場に入ってすぐ，久しぶりの再会で話に華が咲いていました。

開会の辞をOB会会長 荻原英生先生（昭和48年卒），祝辞を同窓会副会長 早速晴邦先生（昭和49年卒），乾杯の挨拶を部長の歯科矯正学講座 坂本輝雄先生（昭和57年卒）より頂き，学年の隔たりなく，和やかな歓談が始まりました。





途中，部活の近況報告を監督代理の歯科放射線学講座の井本研一先生（平成17年卒），現役主将の壺内かれんさん（４年生）からしていただき，40周年から50周年と題したムービー上映と進み，今回も各世代の栄光と題して，オールデンタルや医科歯科リーグでの笑いあり，涙ありの現役時代や近況報告を各世代の先生方からしていただき，新たなる60年への歴史の一幕となりました。

名残惜しくも，閉会の辞を馬上富美男先生（昭和48年卒）からいただき，終演となりました。

ここ10年で，大会，部活動を行っていたボウリング場が多く閉館し，それにも負けずこういった形で50周年という節目の年を迎えられたことは，多くのOBの先生方，現役の皆さんのお力添えがあったからこそと改めて感じました。

2027年に60周年を迎えられるようさらなる飛躍を期待したいと思います。

（平成24年卒　小田嶋彩乃 記）



管弦楽部の創立90周年記念演奏会開催へ

東京歯科大学管弦楽部は1927年（昭和２年）に創立されました。本年，創立90周年を記念しOB会協力のもとに，下記演奏会を開催する運びとなりました。戦後の管弦楽団定期演奏会は第16回から昨年の第38回まで千葉・稲毛での開催でしたが，この記念演奏会は35年ぶりに東京・神保町での開催となります。当日は1967年再結成後の第１回定期演奏会経験者から新卒まで世代を超えて多数のOB・OGも出演予定です。多くの同窓の皆様にご来場いただければ幸いです。

（昭和60年卒・北村　正 記）



案内チラシPDFが同窓会ホームページ≪http：//www. tdc-alumni. jp≫に掲載されています。

髙野伸夫教授退任祝賀会の開催

東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座　柴　原　孝　彦（昭和54年卒）

さる６月10日夕刻，帝国ホテルにおいて髙野教授ご退任祝賀会を，口腔外科学教室および精到会（教室 OB 会）主催のもとで開催いたしました。学内からは井出吉信理事長・学長を初め，名誉教授，現役教授，そしてご同級・同門の先生方の参加をいただきました。学外からは現役時代に大変お世話になった後藤昌昭先生（佐賀大学副学長・前口腔外科教授），式守道夫先生（前朝日大学教授），国民健康保険関係で共に貢献された小林隆太郎先生（日本歯科大学教授），都立大塚病院形成外科の桜井　淳先生，耳鼻科の猪狩和子先生にもご出席いただき，総勢190余名の皆様によって厳かかつ楽しい祝賀会を開催することができました。ここに改めて，主催者を代表して心から感謝申し上げます。

来賓のご挨拶として最初に後藤先生からとても楽しいご祝辞をいただきました。髙野教授の今までにない面をご紹介いただくと共に猛々しい「顔面骨格」のご発言には些か度肝を抜かれました。奇異な「骨格」のみならず，髙野教授には力もあり，愛もある，まさに先生の座右の銘「力愛不二」を実践されている「Mr. 口腔外科医」と言っても決して過言ではありません。先生の叱責は一方的かつ無慈悲なものではなく，答えを導き温情があり，再起の余地を与えていただきます。

先生の口腔外科人生は波乱万丈であったと推察いたします。赴任先だけをみても４回あり，並大抵なご苦労とご努力ではなかったと思います。４回目の赴任先は2005年に新しく統廃合になった本学口腔外科学教室でした。先だって，教室の現役幹部と OB 会（精到会）幹部の席上，髙野教授のご挨拶がありました。「本学口腔外科 as No. 1 を目指す」と語られ，目に涙を貯めていたことが思い出されます。都立病院口腔外科部長として辣腕を振るわれ，「都立病院に髙野あり」の一世風靡の存在であった職を離れ，象牙の塔に入る道を選んだご胸中は如何ばかりかとお察し申し上げる次第です。

閉会の辞で発起人の一人，都立大塚病院の田中潤一から，髙野先生が頻用される語句「あーん」についての解説がありました。独特なイントネーションで発声される



「あーん」には沢山の思いがあり，「as No. 1」「私学の雄」を目指した口腔外科マインド，そして「しっかり継承しろ」の叱咤激励も含まれています。今後も「あーん」の想いを胸に先生の教えを守って行きたいと思います。

先生におかれましては少し休息をお取りいただき，博子夫人そしてお嬢様方と楽しい時間をお過ごしいただければと思います。髙野先生ならびにご家族様のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして，退任祝賀会開催のご報告とさせていただきます。



SCIENTIFIC REPORTS（2016年発表 IF5. 228）掲載
（東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室と群馬大学大学院理工学府分子科学部門との共同研究）

群馬県若手ネットワーク担当　片　野　勝　司（平成１年卒）

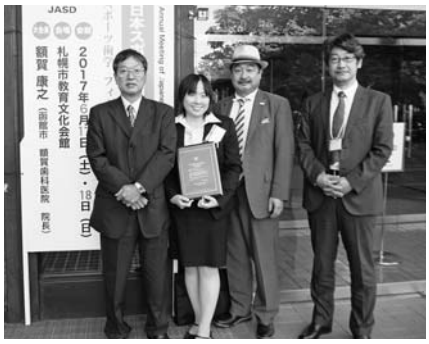
以前，同窓会報でご報告しましたマウスガード素材であるEVAの劣化に関する研究をまとめた国際論文が，2017年３月15日にScientific Reportsオンライン版にて発表されました。Scientific Reportsは Nature publishing groupの国際科学誌であり，自然科学と臨床科学のあらゆる領域を対象としているオープンアクセスの電子ジャーナルです。

執筆者は群馬大学大学院理工学府の桒原涼子氏でタイトルは「Crystallization and hardening of poly（ethylene-co-vinyl acetate）mouthguards during routine use」です。ぜひご覧になってください。本論文は，マウスガード素材として世界中で最も汎用されているEVAの劣化についての世界基準を示した論文であり，今後は世界中で本論文を参考にその指導が行われる事が予想されます。この論文が最も評価されたのは，実際に使用したマウスガードについて分子レベルでの解析を行い，使用したマウスガードは結晶成分すなわち分子運動の束縛成分の増加が確認され，それがマウスガードの劣化の実態であること突き止め，そしてこれに影響する因子について科学的立証した点だそうです。現在，医科で推し進められている臨床と理工学の融合をいち早く歯科から発信できたと共に，2020東京オリ・パラを前に日本のスポーツ歯科と東京歯科大学のレベルの高さを世界に示せたと考えています。

共同執筆者としては載る事は出来ませんでしたが，マウスガードの提供という形で，このような素晴らしい世界的な研究に関われた事を嬉しく，そして誇りに思い本誌面をお借りしてご報告させていただきました。（Acknowledgementsで片野・鎗田の名前を出していただきました。）

最後に群馬県若手ネットワーク担当として，本学で培った探究心と熱い気持ちを持ち続け，そして人の繋がりを大切にしていれば，地方へ移ったり，開業医となっても，このような世界的な研究プロジェクトに関われる事を少しでも示す事が出来たのではないかと思います。

後述：Scientific　Reports論文の他にマウスガードの保管方法や交換時期について明らかにした原著論文がスポーツ歯学第20巻　第２号に掲載されています。そして，2016年名古屋で開催された第27回日本スポーツ歯科医学会学術大会にて，「圧力に対する影響」についての発表が研究奨励賞を受賞しています。



参考：インパクトファクター（IF）とは？

特定の期間に，ある特定雑誌に掲載された論文がどれくらい頻繁に引用されているかを示す尺度です。その分野におけるその学術雑誌の影響力を示す評価ツールです。

例）2015年にIFが着いた歯科雑誌は89誌で，最も高いものはPeriodontology　2000でIF4. 949，次いで高かったのがJournal　of Dental　Researchで IF4. 602でした。

ちなみに，国内の医科雑誌で2016年に最も高かったのが循環器学会のCirculation Journalで IF4. 124しかありませんでした。本論文が掲載されたSCIENTIFIC REPORTSのIF5. 228が如何に高いかがご理解いただけると思います。

Nature publishing group国際科学誌

2016年発表 IF：5. 228


www.nature.com/scientificreports

SCIENTIFIC REPORTS

OPEN

Crystallization and hardening of poly(ethylene-co-vinyl acetate) mouthguards during routine use

Received: 29 June 2016
Accepted: 13 February 2017
Published: 15 March 2017

Ryoko Kuwahara[1], Ryotaro Tomita[1], Natsumi Ogawa[1], Kazunori Nakajima[2], Tomotaka Takeda[2], Hiroki Uehara[1] & Takeshi Yamanobe[1]

Mouthguards (MGs) made from polyethylene-co-vinyl acetate) (EVA) are widely used in contact sports to prevent injuries such as breaking teeth and lip lacerations and to reduce brain concussion. However, the changes in morphology and the molecular mobility of EVA, which can affect its physical properties during practical usage, have not been precisely examined. Therefore, we attempted to determine the main factors which lead to changes in MG performance after one season of practical use by high school rugby players. Solid-state nuclear magnetic resonance (NMR) and pulse NMR measurements showed the hardening of MGs, which was associated with an increased crystallinity of the EVA resulting from prolonged usage. Furthermore, our data indicated that the increase in the relative amount of the crystalline phase may be primarily attributed to temperature fluctuations and repeated changes in pressure, which could cause the hardening of EVA and eventually diminish the protective ability of MGs.

2017年３月15日　Scientific Reports掲載

庶　務　日　誌

７月

1)　理事会

７月26日(水)　第４回常任理事会

2)　委員会

７月10日(月)　会長，専務理事，会計担当常任理事と副会長，担当常任理事との意見交換（広報部）
11日(火)　会長，専務理事，会計担当常任理事と副会長，担当常任理事との意見交換（渉外部，事業推進部）
13日(木)　総務・厚生部ゴルフ大会委員会
14日(金)　会長，専務理事，会計担当常任理事と副会長，担当常任理事との意見交換（総務・厚生部）
18日(火)　会務運営協議会
18日(火)　事業推進部学術委員会　2018年プログラム委員会（ベーシックハンズオンセミナー打合せ）
19日(水)　広報部広報委員会
24日(月)　事業推進部社会保障制度研究委員会
25日(火)　事業推進部学術委員会　運営委員会（MTM セミナーワークショップ）

3)　出張

７月１日(土)　中国地域支部連合会総会・支部長会　矢﨑会長，早速副会長，野間理事出席
学術講演会　講師・橋本正次教授（母校）
１日(土)　群馬県支部総会　髙橋常任理事出席
学術講演会　講師・古澤成博教授（母校）
８日(土)　新潟県支部総会　　冨山副会長出席
９日(日)　愛知県支部学術講演会
講師・阿部伸一教授（母校）
22日(土)　九州大学歯学部同窓会創立50周年式典・祝賀会　　矢﨑会長出席
22日(土)　小樽支部総会・小樽同窓会発足120周年記念総会　　財部副会長出席

4)　事業

７月９日(日)　TDCアカデミア2017　臨床セミナー　ペリオセミナー
12日(水)　TDC アカデミア2017　卒後研修　TDC 研修倶楽部
19日(水)　TDC アカデミア2017　卒後研修　DSM
27日(木)　TDC アカデミア2017　卒後研修　歯科臨床を語る会
30日(日)　学年代表者会

８月

1)　委員会

８月２日(水)　渉外部渉外委員会
２日(水)　総務・厚生部女性会員活動推進委員会
３日(木)　総務・厚生部ゴルフ大会委員会（全体会）
６日(日)　事業推進部学術委員会全体委員会
７日(月)　広報部広報委員会
８日(火)　28校学術連絡会打ち合わせ
17日(木)　総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会

2)　出張

８月19日(土)　北海道地域支部連合会総会・支部長会　　矢﨑会長，臼井専務理事，戸田理事出席
19日(土)　宮崎県支部学術講演会
講師・杉原直樹教授（母校）
26日(土)　北海道地域支部連合会学術講演会
講師・上條英之教授（母校）
26日(土)・27日(日)
第33回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会　　宮地顧問，加藤委員長，山本副委員長出席

3)　事業

８月９日(水)　TDC アカデミア2017　卒後研修　TDC 研修倶楽部
16日(水)　TDC アカデミア2017　卒後研修　DSM
24日(木)　TDC アカデミア2017　卒後研修　歯科臨床を語る会

9月

1） 理事会

9月16日（土） 第4回理事会

2） 委員会

9月4日（月） 広報部広報委員会
4日（月） 事業推進部学術委員会　運営委員会（MTMセミナー最終予演会）
5日（火） 事業推進部学術委員会　企画会議
11日（月） 会務運営協議会
19日（火） 事業推進部社会保障制度研究委員会
25日（月） 渉外部渉外委員会　特別講演会

3） 出張

9月3日（日） 関東地域支部連合会総会・支部長会
矢﨑会長，臼井専務理事，大野理事出席
学術講演会　講師・笠原正貴教授（母校）
9日（土） 信越地域支部連合会総会・支部長会
矢﨑会長，臼井専務理事，阿部理事出席
学術講演会　講師・野村武史教授（母校）
10日（日） 東海地域支部連合会総会・支部長会
冨山副会長，中島常任理事，国島理事出席
学術講演会　講師・井出吉信学長（母校）
14日（木） 日本歯科医師会役員就任披露パーティ　早速副会長出席
30日（土） 北海道大学歯学部同窓会創立50周年式典・祝賀会　矢﨑会長出席

4） 事業

9月13日（水） TDCアカデミア2017　卒後研修
TDC研修倶楽部
20日（水） TDCアカデミア2017　卒後研修
DSM
28日（木） 同窓会主催全国ゴルフ大会（戸塚カントリークラブ）
28日（木） TDCアカデミア2017　卒後研修
歯科臨床を語る会
30日（土） TDCアカデミア2017　臨床セミナー
MTMセミナー

10月

1） 理事会

10月18日（水） 第5回常任理事会

2） 委員会

10月10日（火） 会務運営協議会
13日（金） 広報部広報委員会
17日（火） 事業推進部学術委員会　2018年プログラム委員会（ベーシックハンズオンセミナー打合せ）
24日（火） 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会

3） 出張

10月6日（金） 東京地域支部連合会・中央ブロック連絡協議会　臼井専務理事出席
8日（日） 島根県支部・鳥取県支部合同総会・合同学術講演会　中島常任理事出席
学術講演会　講師・二階堂雅彦氏（東京都開業）
12日（木） 東京地域支部連合会都歯関係東歯同窓懇談会　矢﨑会長出席
14日（土） 九州地域支部連合会総会・支部長会
矢﨑会長，臼井専務理事，田部理事出席
19日（木） 東京地域支部連合会保険講習会
21日（土） 全国歯科大学同窓・校友会懇話会
矢﨑会長，早速副会長，臼井専務理事，宮地顧問出席
27日（金） 東京地域支部連合会学術講演会
講師・文野弘信氏（東京都開業）
29日（日） 東北地域支部連合会支部長会
29日（日） 第49回歯学体成績報告会・東歯祭フェスティバル2017後夜祭
矢﨑会長出席

4） 事業

10月1日（日） TDCアカデミア2017　臨床セミナー
MTMセミナー
11日（水） TDCアカデミア2017　卒後研修
TDC研修倶楽部
18日（水） TDCアカデミア2017　卒後研修
DSM
22日（日） 若手支援セミナー
26日（木） TDCアカデミア2017　卒後研修
歯科臨床を語る会

石井俊男君を偲ぶ

嶸驥会（昭和30年卒）



平成29年７月12日，85歳で逝去されました。

昭和23年春，東京歯科大学予科に入学して早々，君は少林寺拳法やボーイスカウトで活躍し，体がガッチリしているので先輩に見込まれて，予科長の花澤　鼎先生を，むしろを引いたリヤカーで市川駅迄送迎の任についていました。タクシーや輪タクもなく貧しい時代だったんですね。

予科生活３年間は，未だ旧制高等学校の雰囲気が充分残っていて快適な予科生活を過ごしました。

クラス雑誌を作ろうと云う事になり，故荒川　上君等がガリ版摺りの小冊子を作り楽苦我記（らくがき）と名づけ，今でも細々と在京有志の連中と四季に会合を持っています。彼の住いが慈恵の裏でしたので，新橋駅前の橘鮨を根拠にしていました。

本業の歯科では，若い内に港区芝歯科医師会会長を勤め，それ以後は会の大御所としての一生でした。

昭和57年に須佐美康治君が中心になり，らくがき写真集を出版。その中の同人随想近況の文集で君は「肝胆相照らせず」と云うエッセイを書いていますが，60歳近くになって胆嚢と胃切除の手術の事を書いています。云わんとするところは「今後はくよくよいらいらせずにのんびり生きよう。」ということでした。

平成21年にらくがき写真集第Ⅱ集を私の撮影した写真を主にし，昭和44年から「大人のらくがき会」を再会しました。故佐藤忠男君と君がその時も幹事や世話役になり，旅先の特別な所を案内してくれました。私が特に印象に残っている所は，今井　悟君がプランを立ててくれた米子（宍道湖・出雲大社・皆生温泉・大山）の旅と，中井時雨さんが世話をしてくれた「平成の土佐日記遊々奥四万十川」でした。四万十川の名所旧跡ばかりでなく，源流近く迄たどり，船遊びでは，天然のスリムな鮎の塩焼きは特に美味でした。

６年前の平成23年（2011年）左側鼻腔の奥にメラノーマ（黒色腫）を発癌し，稲毛で高価な重粒子治療をして一時は完治した様でしたが，ここ２，３年は副作用でアフターや腐骨ができ，あちこちに転移して癌との厳しい闘いでした。

読書好きな君は，辞世の句を書いています。

「小器われ晩成もせず永らへて凡器を抱え安らかに生く」

葬儀は桐ケ谷斎場で行なわれ，歯科医師会，町会，少林寺拳法，ボーイスカウト等々，多くの交友関係を偲ばせる立派な葬儀でした。

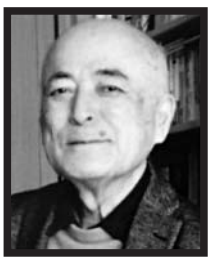
奥様をはじめ，息女３姉妹は気丈夫に振る舞われ，小笠原聖子さんのお礼の挨拶では，感謝を込めた凛々しいものでした。

衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

（昭和30年卒・足代弘文 記）

稲垣君との約束

富己会（昭和40年卒）



あとから聞いた話であるが君は奥様に抱かれて息をひきとったという何と幸せな最期だったろう。君の一番の幸せは五月夫人に出会ったことだったと思う。君と僕との出合は病院実習が始まり保存の配当委員になり，となりどうしで仕事をするようになった時からだと思う。君は入学式で新入生を代表して福島学長に入学の宣誓をした優秀な人だなという記憶がある。当時私は山とテニスをかけもちしたアウトドアの人間だったので進学課程時代にはほとんど話をした記憶はなかったと思う。

けれども水道橋に来て病院実習が始りなんとなく気が合って卒業したら市川病院に行こうということになった。その市川病院で君にとって最高の出会いは五月夫人であったと思う。医局でも君とは机がとなり合わせで10年間一緒に仲良く生活出来たのは私にとって，とても幸せであった。その市川病院でしばらくしてから朝医局に行くと彼の机の上に「一臣さん昨日はとても楽しかった。」という書き置きがたびたび，私は裏返しにしてそっと机の上においておいた。千葉での生活の中で真木子さんと覚君の誕生，それはそれは楽しいすばらしい生活であったろう。当時真木子さんにはバイオリンを，覚君にはチェロを習わせていた。それは「どの子も育つ母親しだい」という鈴木鎮一の理念に同調していたからだ。２人のお子様（覚君は同窓）の今の立派な姿はずっと五月夫人の頑張りの賜物と思う。

昨年10月19日付の手紙を君から受けとった。末期癌を宣告されたという内容が淡々と記されていた。以後歳暮，中元の挨拶は止めてくれ，遠いから見舞も遠慮してくれ，五月夫人に負担をかけたくないからという内容だった。すぐ返事を書いた。生きる希望を持ってくれ！　希望のあるところには失望はないからと。頑張ったね。君からもらった雁の便りはいつもいつも希望に満ちた明るいものだった。最後の便りにはまだ絶望はしていないよ！　と。４月１日，電話をもらった。私が送った文献が届いたとの連絡だったが最後に，腹水がたまるようになって苦しいという心なしか，私の気のせいか弱々しい声だった。素人ながらとうとうここまで来てしまったかと感じた。

いつの日であったかまったく正確に覚えていないが医局に残って数年たってから急に彼からこんなことを云われた。自分が死んだら白い菊の花で飾ってくれ！　と，４月21日午後１時すぎ覚君から電話，「父が亡くなった。」と，すぐに知り合いの花屋さんに出かけ白い菊の花を22日に届くようにお願いした。23日の告別式の日，君の棺の上に白い菊の花束があった。嬉しかった。約束をはたしたよ！　およそ50年も前から君は自分の死を真剣に考えていたのだね。昨年末からこの４月まで数回の便りと電話をもらったがいつも死を恐れずに生きる喜びを伝えてくれた感謝の文と電話だった。最後の文章はまだ絶望はしていないよと。最後に抗癌剤は止めたけどフコイダンだけは飲んでいるよと自筆で書き添えてくれたね！　立派だったね！　手紙からずっと旅立つ君の最後の別れまでの用意周到な準備ぶりには心から敬服したよ！　奥様に抱かれ家族に見守られ最後の言葉がバイバイと云って眼を閉じたという。心打たれる最後だったね！

祭壇に飾られた君の穏やかな写真にはやすらぎのある，人を和ませる素晴らしい，美しい顔だった。覚君の挨拶にあるやさしくて強い父だったという言葉に私も本当にそう思うし，また真木子さんの素晴しい音色のバイオリン，君が大好きだったというビタリーのシャコンヌに送られた旅立ちは素晴しかったよ！

あとはまったく心配ないよ稲垣君。立派な奥様，真木子さん，覚君とその可愛いお孫さん達に囲まれ幸せだったね！　ゆっくり天国で休んでくれたまえ！

（昭和40年卒・縣　信哉 記）

追悼文の投稿についてのお願い

日頃より同窓会報へのご協力を受け賜り誠にありがとうございます。あらためて会員の皆様には感謝申し上げます。

さて最近の追悼文の投稿ですが文字数が投稿規定を大幅に超えているものが多く見受けられます。このような傾向が増していくと投稿規定を守っていただいている方との公平性を欠くようになってしまいます。つきましては，次号より投稿規定に沿った原稿での提出をお願いいたします。また大幅に文字数が超過する原稿につきましては文字数の削減等をお願いする場合があります。

何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

広報委員会

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

（敬称略・届出順）

●昭 20.9 卒	田村博親	(92歳)	新潟県長岡市	29. 4.13
●昭 31 卒	宮下眞治	(85歳)	東京都品川区	29. 6.14
●昭 51 卒	小川克昌	(65歳)	岡山県総社市	29. 6.27
●昭 20.9 卒	古澤節夫	(95歳)	東京都品川区	29. 6.26
●昭 38 卒	櫻田守利	(81歳)	青森県青森市	29. 6.22
●昭 54 卒	小舩邦夫	(66歳)	千葉県市川市	29. 6.29
●昭 18.9 卒	福間公介	(95歳)	山口県周南市	29. 3.19
●昭 57 卒	小川　隆	(60歳)	栃木県足利市	29. 6.22
●昭 19.9 卒	斉川　勇	(95歳)	石川県能美市	29. 7. 9
●昭 30 卒	阿部春美	(87歳)	東京都東村山市	29. 6.30
●昭 17.9 卒	田熊恒寿	(95歳)		29. 7. 6
●昭 30 卒	石井俊男	(85歳)	東京都港区	29. 7.12
●昭 52 卒	大和田一彦	(64歳)	埼玉県久喜市	29. 7.12
●昭 17.9 卒	中山靜夫	(96歳)	千葉県成田市	29. 6.26
●昭 46 卒	熊本順彦	(70歳)	京都府京都市	29. 7.14
●昭 39 卒	寺尾一栄	(79歳)	神奈川県鎌倉市	29. 7.11
●平 21 卒	折戸　聡	(33歳)		29. 7.21
●昭 33 卒	大石康雄	(84歳)	静岡県静岡市	29. 7.27
●昭 20.9 卒	三輪久夫	(92歳)	東京都中野区	29. 7. 7
●昭 50 卒	米津武郎	(66歳)	徳島県徳島市	29. 7.24
●昭 47 卒	神庭恒久	(71歳)	島根県松江市	29. 6.29
●昭 23 卒	中久喜　喬	(91歳)	東京都台東区	29. 8. 2
●昭 34 卒	土橋康男	(83歳)	神奈川県横浜市	29. 8. 2
●昭 24 卒	竹内良伯	(89歳)	愛知県半田市	29. 8.15
●昭 31 卒	湯澤哲郎	(85歳)	栃木県日光市	29. 8.17
●昭 49 卒	齋藤文明	(67歳)	東京都江東区	29. 8.15
●昭 36 卒	矢内謙次	(80歳)	東京都狛江市	29. 8.16
●昭 60 卒	樋浦秀一郎	(56歳)	東京都中野区	29. 8.25
●昭 24 卒	神山敏男	(88歳)	三重県津市	29. 8.22
●昭 18.9 卒	渡邉博太	(95歳)	茨城県筑西市	29. 8.29
●院 昭62修	佐藤　徹	(59歳)	新潟県新潟市	29. 8.30
●昭 33 卒	松澤　稔	(83歳)	東京都品川区	29. 8. 7
●昭 41 卒	吉岡政雄	(75歳)	神奈川県横浜市	29. 9. 6
●昭 42 卒	荒木　覚	(76歳)	山梨県北杜市	29. 7. 7

◆投 稿 規 定

※平成26年度より，偶数月発行から年間４回（２，６，10，12月）の発行になりました。

(1) 原稿締め切り
原稿の締め切りは，発行前月の10日までとし，原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投 稿 様 式
投稿は原稿用紙に横書きとし，便箋などの使用はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場合は１行15字で設定して下さい。写真はピントのあったものを，大きいサイズ（２Ｌなど）で集合写真のみでなく，スナップなども添えて下さい。

(3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし，紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので，ご了承下さい。なお，掲載については委員会にご一任いただきます。

(4) 写真等の返却
写真等は，原則として返却いたしませんが，特に貴重な写真の場合は，その旨書き添えて下されば返却いたします。写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

(5) 投 稿 字 数

投稿欄	内容	文字数，備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想，詩，短歌，時評など	１編1,700字程度（１ページ)。投稿者本人にしか解らない思い入れや，取り止めのない随筆はご遠慮いただき，出来るだけ大学や同窓会に縁（ゆかり）あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		１ページ1,700字程度（１ページ以内でお願いします） 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当，会場風景や大勢のスナップ写真は360字相当，数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚，同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご利用下さい。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ
http : //tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/をご覧下さい。

投稿送付書

郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し，同封をお願いします。

お名前（漢字）		フリガナ	所属支部　　支部
卒業年数（どれか１つ）	（昭和・平成・西暦）＿＿＿＿＿＿年卒　／　＿＿＿＿＿＿期卒		
住所（自宅・勤務先）	〒		
電話番号（自宅・連絡先）	－　　－	FAX 番号	－　　－
投稿先 □に✓印チェック	同窓会会報　□カラーグラビア　□追悼　□支部のうごき □ふるさと自慢　□すいどうばし　□いなげ □クラス会だより　□OB，グループ・サークル		
貼付写真枚数	枚		
その他ご希望	（例　写真の順番・重要度など）		

◆へんしゅうこうき　★秋の鳴く虫と言えば「スズムシ」,「マツムシ」が有名どころであろう。昨今は,日没後に街路樹からリィーリィーと降り注ぐように鳴く「アオマツムシ」の声がわれわれに秋の訪れを感じさせてくれる。しかしこの「アオマツムシ」,実は明治末期に中国から渡来した帰化昆虫である。よほど住み心地がよかったものか,すっかり日本の風土に溶け込んでしまった。最近,ヒアリに代表される外来種の話題が喧しいが,季節感ぐらいは国産のもので感じ取りたいものである。

★母校中久喜　喬名誉教授が亡くなられた。今夏の学年代表者会にはお元気に出席され,数日後ご自宅で就寝中での大往生と承った。個人的なことで恐縮だが,私が学生で東歯祭実行委員をやっていた時,何かの会の余興で,当時学生部長だった中久喜先生のカラオケに接したことがあった。歌は往年のヒット曲「骨まで愛して」であった。さすが外科系の先生はそれらしい歌を歌われるものだなと,学生ながらに感心したことを思い出した。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

★大学では水道橋校舎西棟が完成し,メインキャンパスの移転事業が一段落した。次いで東京歯科大学短期大学が開学。そして本号カラーグラビアに掲載されているとおり,千葉校舎にフードコートがオープンした。まさに歩みを止めぬ母校に頼もしさを感じる。同じくカラーグラビアには設備支援の寄付者銘板披露の様子が紹介されている。大学によると,「銘板は設置したが設備援助はなお継続しているのでさらなる援助をお願いしたい,またご芳名の追記も可能」とのことである。

★同窓会最大のトピックは今秋開催される評議員会に共済制度の見直し案が提出されることであろう。この案は社会構造の変化や同窓会の会員構成の変動を勘案し,時代にあった根本的な見直しが必要であると,１年かけて総務厚生委員会や理事会で十分検討されたものである。会費未納や支部未加入の会員が増加傾向にあるなか,新制度が同窓会本来の目的を見失わず,会員相互の不公平感の解消や懸念される大規模災害への対応など,より現状に即したものになるよう期待したい。

（渡邊宇一　記）

広報部広報委員会

委 員 長：昭和53年卒 臼田　　準
副委員長：昭和61年卒 福井　雅之
：平成４年卒 西村　哲雄
：平成７年卒 山口　雅史
委　　員：昭和60年卒 奥野　圭子
：昭和60年卒 佐々木葉子
：昭和60年卒 皆川　雅彦
：昭和63年卒 渡邊　宇一
：平成３年卒 島田　　篤
：平成４年卒 本間　敬和
委　　員：平成９年卒 末原　正崇
：平成10年卒 横田　東生
：平成16年卒 菅原　圭亮
協力委員：昭和58年卒 古澤　成博
：昭和62年卒 北村　　晃
：昭和63年卒 岩田　昌久
：平成１年卒 長岡未佐子
：平成11年卒 片山　明彦
広報部担当副会長：昭和57年卒 冨山　雅史
担 当 理 事：昭和56年卒 小池　　修
：昭和61年卒 岡村美恵子

平成29年10月20日　印刷
平成29年10月25日　発行
東京歯科大学同窓会会報　第409号
同窓会ホームページアドレス
http://www.tdc-alumni.jp

発行人　小　池　修
編集人　臼　田　準
東京歯科大学同窓会
〒101-0061　東京都千代田区三崎町2－9－18
電　話（03）5275－1761
ＦＡＸ（03）3264－4859
印刷所　一世印刷株式会社
〒161-8558　東京都新宿区下落合2－6－22
電　話（03）3952－5651（代）